

勅令第七十六號 屯田兵移住給與規則(明治二十三年五月十二日官報)抄録  
第十一條第一項

屯田兵家族ノ者疾病傷疾ニ罹リタルトキノ藥劑等ハ扶助年限中ニ在テハ之ヲ官給シ扶助期限後豫備役中ハ豫メ定ムル所ノ費額ヲ徴收シ之ヲ交付スルコトヲ得

陸達第二十六號(明治二十五年三月三十一日)

北海道ニ於テ藥局ナキ地方又ハ藥局アルモ止ムラ得サル場合ニ當リ官費治療ヲ受ケサル軍人軍屬及其家族ニシテ軍醫ノ處方醫ヲ以テ藥劑等ヲ特ニ請求シタルトキハ屯田兵部隊ノ藥室ヨリ之ヲ與フルコトヲ得但軍人軍屬ノ傷疾疾病公務ニ起因スルコトヲ證明スルモノ、他ハ其定額ヲ納メシム

○海軍省達第四十號

掌砲兵、掌水雷兵、掌機工、掌罐工及水雷工配置表中左ノ通改正ス

明治二十七年三月二十九日

海軍大臣伯耆西郷從道

吉野ノ欄ヲ左ノ通改正ス

吉野	掌砲兵	掌水雷兵	掌機工	掌罐工	水雷工
八十一人	二十九人	七人	三人	二人	二人

春日、對馬水雷隊敷設部、攻撃部ノ欄ヲ削除ス  
佐世保水雷隊ノ次ニ左ノ通追加ス

對馬水雷隊	數設部	一	人	二	人	一	人	二	人
	攻撃部	四	人	二	人	一	人	二	人

○海軍省達第四十一號

明治二十七年三月二十九日 被服品及糧食品中乾麵包罐詰ボイルドビーフ、ローストビーフ、コンビーフ、罐詰鮭、罐詰鰯ハ鎮守府監督部條例第十七條ニ依リ横須賀衣糧庫ヨリ供給シ其他ノ糧食品ハ各地衣糧庫ニ於テ調辦スヘシ

明治二十七年三月二十九日  
海軍省達第四十二號

海軍大臣伯耆西郷從道

陸達第二十七號  
本年陸軍經理學校監督學生及軍吏學生入學試驗格例左ノ通定ス  
明治二十七年三月三十日  
監督學生入學試驗格例

陸軍大臣伯耆大山 巖

筆記試驗

陸軍會計經理	會計法、會計規則、物品會計規則、陸軍兵備會計規則、陸軍物品會計規則、陸軍給與令、陸軍給與令細則、陸軍給與令關スル委任經理、軍醫經理、陸軍醫務規程
化學	非金屬元素、金屬元素、其普通ノ化合物、羅斯利氏化學書
物理	物理學教程講本、二十年士官學校編集
算學	代數、幾何(立體、平面、三角)
外國語學	英佛獨ノ内、歐文和譯、和文歐譯

口述試驗

陸軍成規類案第一類(官制)第五類、野外要務令、戰時諸勤務令(監督勤務ニ必要ノ部)



軍吏學生入學試驗格例

筆記試驗

陸軍會計經理	會計法(會計規則)監督部條例(監督部條例)被服條例(被服條例)軍隊內務部(第三十
作	文
簿記學	理論及例式、商用簿記學原論、勝村榮之助著
算	比例(單複)平方代數(一次方程式)幾何(平面)
外國語學	英佛獨ノ内、歐文和譯

○陸軍第二十八號

明治二十三年陸軍第四十二號陸軍計算記簿規程同附屬書式中左ノ通改正シ明治二十七年ヨリ施行ス

明治二十七年三月三十一日

陸軍大臣伯耆大山 巖

陸軍計算記簿規程中

- 第一條中「第十一 家計保護金明細簿」第十二 身元保證金明細簿」第十三 公債證書記入帳」第二十五 積立金整理簿」ヲ削リ「第四十七 決算報告書」ノ次ニ「第四十八 糧米受拂表」第四十九 馬糧受拂表」第五十 糧米仕拂明細表」第五十一 馬糧仕拂明細表」第五十二 被服地質請求明細書」第五十三 委任經理ニ係ル諸費請求明細書」ヲ加フ
- 第十三條第十四條及第二十六條削除
- 第四十六條 糧米受拂表並馬糧受拂表ハ毎月糧米馬糧ノ受拂ヲ證明スルノ用ニ供ス
- 第四十七條 次ニ左ノ四條ヲ加フ
- 第四十七條 糧米仕拂明細表並馬糧仕拂明細表ハ毎月現食數又ハ現飼數ニ應シ糧米馬糧ノ費消

高ヲ一 目明瞭ナラシメ各受拂表ニ添付スルモノトス

第四十八條 被服地質請求明細書ハ現品交付ノ地質ヲ請求スルトキ之ヲ作り被服傳票ニ添付スルモノトス

軍隊ニ交付ノ地質ハ委任經理ニ屬スルヲ以テ定員ト定數ニ基キ各官衙ニ交付ノ地質ハ委任經理ニ屬セサルヲ以テ實際給與ノ員數ニ基キ所要數額ヲ算定シ同一ノ品種ハ各共數量ヲ集計シ共ニ被服傳票ニ轉記スルヲ要ス

第四十九條 委任經理ニ係ル諸費請求明細書ハ委任經理ニ屬スル各費目ノ定額ヲ請求スルトキ仕拂請求書ニ添付スルモノトス

但現金前渡ヲ受ケタル金額ヲ以テ仕拂タルトキハ其證據書ト爲スモノトス

第五十條 前各條ノ帳簿表面等ハ附屬書式第一號乃至第四十號ニ依ルヘシ

一 各官衙各隊所用帳簿表面區分表名稱中「家計保護金明細簿」「身元保證金明細簿」「公債證書記入帳」「積立金整理簿」ヲ削リ「決算報告書」ノ次ニ「糧米受拂表」「馬糧受拂表」「糧米仕拂明細表」「馬糧仕拂明細表」被服地質請求明細書」委任經理ニ係ル諸費請求明細書」ノ六區畫ヲ設ケ備考第一項ニ示ス」ノ下ニ「糧米受拂表以下ハ之ヲ要スル所ニ於テ使用スヘシ」ノ二十二字ヲ加フ

附屬書式中

- 一 第八號及第十七號書式ヲ別紙ノ如ク改ム
- 一 第九號第十號及第二十四號書式乙ヲ廢ス
- 一 第三十六號書式ノ次ニ別紙第三十七號乃至第四十號書式ヲ加フ

(書式略ス)

(參照)

- 陸軍第四十二號陸軍計算記簿規程(明治二十三年三月二十日)抄錄
- 第二條 各官衙各隊所要ノ帳簿表面ノ名稱左ノ如シ但所用區分ハ別表ニ依ルモノトス(下略)
- 第十三條 家計保護金及身元保證金明細簿ハ其納付者ノ氏名及其種類ヲ明瞭ニシ且下段ノ事項ヲ記入シ其計算ヲ整理スル







水雷艇ニシテ定繫港内ニ於テ特ニ乘員ヲ充實シ命ヲ受ケ演習其ノ他航海ニ従事スルトキハ其ノ日ヨリ之ヲ終リタル日マテ支給ス

第五條 前條ニ依リ航海加俸ヲ給スヘキ軍艦又ハ水雷艇ニ乗組ヲ命シタルトキハ乘艦ノ日ヨリ退艦ノ日マテ航海加俸ヲ支給ス但事務引繼ヲ終リ尙在艦スルトキハ航海加俸ヲ支給セス

進級轉職等ニ因リ航海加俸ニ増減アルトキハ増給ハ辭令受領ノ日ヨリ減給ハ其ノ翌日ヨリ支給ス外國航海ニ依テ航海加俸ニ異動ヲ生スルトキハ最終ノ内國港灣拔錨ノ日ヨリ初メテ内國港灣ニ投錨ノ日マテ日ヨリ支給額ヲ支給ス

甲國派遣中命ヲ受ケ乙國ニ出航シ給額ニ異動ヲ生スルトキハ出航ノ日ヨリ甲國ニ歸港投錨ノ日マテ目的地ニ應シ相當ノ日當加給額ヲ支給ス但甲國ニ歸航セサルトキハ指定ノ港灣又ハ初メテ内國港灣ニ投錨ノ日マテ之ヲ支給ス

第六條 俸給令第八條ニ依リ給スヘキ航海加俸ハ乘船ノ日ヨリ退船ノ日マテ之ヲ支給ス旅費ヲ給スルトキハ其ノ支給日數中之ヲ支給セス

第七條 俸給令第十六條ノ場合ニ於テ事務引繼若クハ殘務調理ノ爲メ執務ヲ命スルトキハ其ノ事務ヲ終リタル日マテ在職中ノ同額ノ俸給及加俸ヲ支給ス

第八條 俸給令第十條ノ加俸ハ教員ノ職ヲ命シタル日ヨリ其ノ職ヲ免シタル日マテ之ヲ支給ス

第九條 俸給令第九條第十一條及第十二條ノ加俸ハ善行章及證書證狀ヲ授與シタル日ヨリ之ヲ有スル間支給シ又善行章ヲ剝奪シタルトキハ其ノ日ヨリ之ヲ支給セス

第十條 准士官以上候補生及下士卒死亡シタルトキハ其ノ當日マテ俸給及加俸ヲ支給ス

第十一條 豫備後備ノ准士官以上ヲ召集シタルトキハ指定ノ地ニ到著ノ日ヨリ役務ヲ終リタル日マテ俸給及加俸ヲ支給ス

豫備兵、後備兵、歸休兵ヲ召集シタルトキハ入營ノ日ヨリ退營ノ日マテ俸給及加俸ヲ支給ス

第十二條 俸給令第十八條ノ俸給ハ宣告ノ日ヨリ滿期ノ日マテ之ヲ支給ス

同令第十九條ノ俸給ハ入院若クハ陸地療養ノ爲メ退廳ノ日若クハ缺勤八日目ヨリ退院若クハ出務ノ前日マテ之ヲ支給ス

同令第二十條ノ俸給ハ事故ノ生シタル日ヨリ事故ノ止ミタル日マテ之ヲ支給ス

同令第二十一條ノ俸給及第二十二條ノ加俸ハ事故ノ生シタル日ヨリ事故ノ止ミタル日マテ之ヲ支給シ若クハ之ヲ停止ス

上官ノ職務心得中ノ下士以上及其ノ他ノ下士卒ニシテ前各項ノ事故ヲ生スル場合ニ於テハ其ノ受クル所ノ俸給ニ依リ減額ス

公暇中歸郷スル者ニハ俸給令第二十條及第二十二條ノ例ヲ適用セス

第十三條 明治二十三年勅令第五百十號ニ依リ俸給ノ前渡ヲ爲ストキハ下士卒ニハ保證人二名ヲ立テシムヘシ

第十四條 俸給令第二十三條ニ依リ俸給ヲ其ノ家族ニ下渡スニハ俸給三分ノ二以内ニ於テ適宜圖位以上所要ノ金額ヲ定タル請求書ヲ出サシメ家族渡ノ應ニ移牒シ該應ニ於テハ其ノ移牒ニ依リ所定額ヲ家族ニ下渡シ本艦ニ於テハ其ノ殘額ヲ支給ス但下士卒ノ家族渡請求書ニハ保證人二名ヲ立テシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ俸給ニ増減ヲ生シタルトキハ艦船ニ於テ支給スル俸給額ヲ以テ増減ス

第十五條 下士卒ニシテ前二條ノ場合ニ於テ過渡トナリタル金額ヲ指定ノ期限内ニ返納シ能ハサルトキハ保證人ヲシテ辨償セシムヘシ

第十六條 准士官以上候補生及下士卒所轉ヲ轉シタル後追給若クハ追徴スヘキ金額アルトキハ現時所在ノ廳ニ於テ之ヲ追給シ若クハ追徴ス但本省ト他ノ各廳ト交互轉職シタル場合ニ於テハ各其ノ當時ノ所轉廳ニ於テ追給若クハ追徴ス



第十七條 准士官以上候補生及下士卒ノ俸給及加俸ハ十二月二十五日其ノ他ハ毎月末日（當日俸）ルトキハ順所轄廳ニ於テ之ヲ支給シ兼務者ハ本務ノ廳ニ於テ之ヲ支給ス但兼務ニ依リ加俸ヲ支給シ若クハ上官ノ職務心得ヲ兼務スルモノアルトキハ兼務ノ廳ニ於テ之ヲ支給ス

第十八條 艦船出航中家族ニ下渡スヘキ俸給ハ所管鎮守府司計部ニ於テ之ヲ支給ス

第十九條 准士官以上候補生及下士卒甲廳ヨリ乙廳ニ轉スルトキハ第十七條ノ支給定日ニ拘ラズ甲廳ニ於テ退廳當日マテノ俸給及加俸ヲ支給シ第六條第十條及第十一條ノ場合ニ於テハ其ノ際所轄廳ニ於テ各本條ニ依リ其ノ俸給及加俸ヲ支給シ第七條ノ場合ニ於テハ事務ヲ終リタル際職務ノ廳ニ於テ其ノ俸給及加俸ヲ支給ス

航海加俸ノ支給上甲乙兩廳ニ跨ルトキハ退廳當日マテ甲廳ニ於テ支給シ其ノ翌日ヨリ乙廳ニ於テ支給ス

第二十條 死亡者若クハ逃亡者ニ支給スヘキ金額アルトキハ其ノ遺族又ハ代理人ノ請求ニ依リ之ヲ下付スルコトヲ得

第二十一條 本省職員ト他ノ職員ト交代スルトキ其ノ俸給ハ先發赴任者ノ廳ニ於テハ退廳ノ日マテヲ計算シ之ヲ先發赴任者ニ支給シ後發赴任者ノ廳ニ於テハ退廳ノ日ニ拘ハラズ先發赴任者退廳ノ日ヲ以テ打切り計算シ之ヲ後發赴任者ニ支給ス

附則

第二十二條 此ノ細則ハ明治二十六年勅令第二百五十二號海軍軍人俸給令施行ノ日ヨリ施行ス

明治二十四年達第百六十三號海軍軍人俸給及手當金支給細則ハ此ノ細則施行ノ日ヨリ廢止ス

○海軍省達第四十六號

海軍下士卒手當金支給細則左ノ通定ス

明治二十七年二月三十一日

海軍大臣伯爵西鄉從道

海軍下士卒手當金支給細則

第一條 規則第一條ノ手當金ハ勤務地ニ到着シタル翌日ヨリ退廳ノ前日若クハ死亡ノ日マテ之ヲ支給ス但入院シタルトキハ其ノ翌日ヨリ退廳ノ前日マテ若クハ旅費ヲ給スル旅行並ニ公務ニアラサル旅行ニハ出發ノ日ヨリ歸著ノ日マテ手當金ヲ支給セス

第二條 規則第二條ノ手當金ハ十級ニ分テ第十級ヲ最高トシ第一級ヲ最低トシ最低級ハ一日貳錢ト定メ以上一級毎ニ一日貳錢ヲ遞加シ労働ノ時間ト難易トニ依リ之ヲ支給スヘシ

第三條 規則第三條ノ手當金ハ五級ニ分テ第五級ヲ最高トシ第一級ヲ最低トシ最低級ハ一日貳錢ト定メ以上一級毎ニ一日貳錢ヲ遞加シ労働ノ時間ト難易トニ依リ之ヲ支給スヘシ

夏期九十日間ハ北緯ニ於テハ六月十五日ヨリ九月十二日マテ南緯ニ於テハ十二月十五日ヨリ三月十四日ヨリ三月十三日マテトス

第四條 規則第四條ノ手當金ハ再服役ノ許可ヲ受ケ其ノ服役ニ就キタルトキ之ヲ支給ス

第五條 規則第五條ノ事故ヲ生シタルトキハ其ノ日ヨリ事故ノ止ミタル日マテ手當金ヲ支給セス

第六條 轉勤ノ際手當金ノ支給甲乙兩廳ニ跨ルトキハ退廳ノ日マテ甲廳ニ於テ支給シ其ノ翌日ヨリ乙廳ニ於テ支給ス

第七條 兼務ニ依リ手當金ヲ給スル場合ニ於テハ兼務ノ廳ニ於テ之ヲ支給ス

第八條 規則第二條第三條ノ手當金ヲ支給シタルトキハ艦團隊長ニ於テ其ノ事由ヲ詳具シタル月報ヲ調製シ所管長官ヲ經由シテ海軍大臣ニ報告スヘシ

附則

第九條 此ノ細則ハ明治二十六年勅令第二百五十三號海軍下士卒手當金規則施行ノ日ヨリ施行ス



○海軍省達第四十七號  
海軍生徒手當金支給細則左ノ通定ム

明治二十七年三月三十一日

海軍大臣伯露西鄉從道

海軍生徒手當金支給細則

- 第一條 海軍將校生徒及機關生徒ニ給スル手當金ハ生徒ヲ命シタル日ヨリ候補生ニ採用ノ前日マテ之ヲ支給ス
- 第二條 海軍技手生徒ニ給スル手當金ハ生徒ヲ命シタル日ヨリ技手ニ採用ノモノハ其ノ當日マテ技工ニ採用ノモノハ其ノ前日マテ之ヲ支給ス
- 第三條 海軍將校生徒機關生徒及技手生徒死亡シタルトキ若クハ生徒ヲ免シタルトキハ其ノ當日マテ手當金ヲ支給ス
- 第四條 規則第三條ニ依リ給スル手當金ハ入院又ハ在校セサル當日ヨリ退院若クハ昇校ノ前日マテ之ヲ支給ス
- 第五條 規則第四條ノ事故アル場合ニ於テハ其ノ事故ノ生シタル日ヨリ事故ノ止ミタル日マテ手當金ヲ支給セス
- 第六條 規則第六條ニ依リ被服費ヲ支給スル場合ニ於テハ海軍大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 第七條 手當金ハ十二月ハ二十五日其ノ他ハ毎月末日當日休暇ニ當ルトキハ順次繰上ク所轄廳ニ於テ之ヲ支給ス但候補生技手又ハ技工ニ採用シ若クハ生徒ヲ免シ又ハ死亡シタル者ニハ本條ノ支給定日ニ拘ラズ其ノ際手當金ヲ支給ス

附則

第八條 此ノ細則ハ明治二十六年勅令第二百五十四號海軍生徒手當金規則施行ノ日ヨリ施行ス

明治二十二年達第四百五十九號海軍生徒手當金支給細則及明治二十四年達第二百二十七號ハ此ノ細則施行ノ日ヨリ廢止ス

〔參照〕

海軍省達第二百二十七號(明治二十四年六月十三日)

海軍造船工學校生徒手當金支給細則分定ムルコト左ノ如シ

一 處刑留置收禁拘留逃亡者クハ選便輸送中ノ者其他事故ヲ以テ在校セサル者ノ手當金ハ其當日ヨリ歸校ノ前日マテ之ヲ給セス

二 手當金ハ毎月末日ニ至ルハ二十五日又休暇所轄廳ニ於テ之ヲ給ス但生徒ヲ罷メタルトキハ其際之ヲ給ス

○海軍省達第四十八號

海軍內國旅費支給細則左ノ通定ム

海軍大臣伯露西鄉從道

海軍內國旅費支給細則

- 第一條 凡ソ一日ノ行程ハ陸路十二里汽車路二百哩海路二百海里ヲ旅行スルヲ例トス但特ニ命ヲ受ケ途中ニ宿泊シ若クハ川留、雪支、船待其ノ他避クヘカラサル事故アルトキハ此ノ例ニアラス
- 第二條 汽車料、船料及車馬賃ハ其ノ種類毎ニ經過セシ路程ノ總數ヲ合算シテ之ヲ支給ス但一位未滿ノ端數ハ計算セス
- 第三條 發著地ノ市町村原標若クハ中央ト汽車停車場又ハ船舶ニ乗組ムヘキ阜頭トノ間一里ニ滿タサルトキハ總里數ニ計算セス
- 第四條 旅行中病氣ニ因リ滞在スルトキハ醫證、船待ノ爲メ滞在スルトキハ當該船舶會社、會社又ハ支社ノ設ケナキ場所ニ於テハ回漕店若クハ船長ノ證明書、川留、雪支其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ滞在スルトキハ其ノ實況ヲ證明シタル書類ニ依リ日當ヲ支給ス
- 第五條 下士卒ニ入院ヲ命シ若クハ施療場所ヲ移轉セシメ又ハ歸郷セシムル場合ニ於テ重傷若ク



ハ病症ニ依リ特ニ船舶車馬肩輿等ヲ要スルトキハ所轄長ノ認可及軍醫ノ診斷ニ依リ其ノ實費ヲ支給ス

第六條 賜暇旅行中出張ヲ命シ直ニ指定地ニ赴クトキハ其ノ所在地ヨリ相當ノ旅費ヲ支給シ又ハ特ニ公務ニ從事セシムルトキハ其ノ間相當ノ旅費ヲ支給ス

第七條 旅行中任官進級等ニ因リ旅費等級ヲ變シタルトキハ辭令受領ノ日ヨリ相當ノ旅費ヲ支給ス

第八條 旅行中私事ノ爲メ許可ヲ得テ迂路若クハ他道ヲ經過スルトキハ日當ハ其ノ日ヨリ再ヒ順路ニ復スル日マテ汽車料船舶料及車馬賃ハ迂路若クハ他道ニ入りタル間之ヲ支給セス但赴任途中他ノ公務ヲ以テ迂路若クハ他道ヲ經過スルトキハ其ノ間仍ホ赴任旅費ヲ支給ス

第九條 待命休職停職及文官非職中就職ノトキハ現任地ヨリ勤務地マテ相當ノ旅費ヲ支給ス

第十條 賜暇旅行中若クハ公務旅行中轉勤又ハ勤務ヲ命シ直ニ赴任スルトキハ現所在地ヨリ勤務地マテ相當ノ旅費ヲ支給ス但規則第五條ニ依リ支給スル移轉料ハ此ノ例ニアラス

第十一條 歸郷旅費ハ從前勤務シ若クハ滞在セシメタル地ヨリ原籍居住地マテ之ヲ支給シ旅行中直ニ歸郷スルトキハ其ノ所在地ヨリ原籍居住地マテ之ヲ支給ス

第十二條 北海道旅行ハ十一月ヨリ三月マテ五箇月間車馬賃ニ限り定額ヲ以テ支辨シ難キ場合ニ於テ其ノ實費ヲ支給ス

第十三條 規則第二十一條但書ニ依リ旅費ヲ追給スルトキ日當ハ現日數ニ依リ又汽車料船舶料及車馬賃ハ追尾歸艦ニ在テハ其ノ路程ノ順路ニ應シ之ヲ支給シ又經路ヲ變更シタルトキハ其ノ變更ノ爲メニ生スル差増額ヲ追給ス

第十四條 行程ヲ計算スルニハ海軍里程表ニ據ル若シ之ニ據リ難キモノハ郵便線路圖又ハ水路部或ハ地方廳ノ測定スル所ニ據ルハシ

海軍里程表ハ別ニ之ヲ定ム

第十五條 旅費ハ所轄廳ニ於テ之ヲ支給ス但左ノ場合ニ於テハ兼務廳若クハ出發廳ニ於テ支給ス

一 本人ノ請求ニ依リ赴任旅費ヲ概算渡スルトキ

二 規則第二十一條第一及第二ニ依リ旅費ヲ精算拂トナシ支給スルトキ

三 他所管ニ屬スル刑事被告人ヲ旅行セシムルトキ

四 兼務其ノ他所轄廳以外ノ公務ヲ以テ旅行セシムルトキ

第十六條 規則第二十一條ニ據リ支給スル旅費ハ支出ノ日ヲ以テ會計年度ヲ區分シ其ノ他ノ場合ニ於テ旅行ノ兩會計年度ニ跨ルトキハ汽車料船舶料ハ其ノ汽車又ハ船舶ノ到着シタル日ノ年度ニ據リ日當及車馬賃ハ會計年度分界ノ日ニ依リ區分ス

第十七條 規則中汽車料及船舶料ノ定價トハ當該鐵道局鐵道會社及船舶會社、船舶會社ノ航路ナキトキハ回漕營業者ニ於テ定ムル所ノ賃價ヲ云ヒ又軍艦乘組備人トハ從僕、割烹、剃夫ヲ云フ

附 則

第十八條 此ノ細則ハ明治二十七年勅令第三十四號海軍內國旅費規則施行ノ日ヨリ施行ス



○海軍省達第四十九號  
横須賀鎮守府所管警備艦武藏ヲ常備艦隊ニ編入セシメラル

明治二十七年四月四日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省達第五十號  
吳鎮守府所管警備艦大和筑紫赤城ヲ常備艦隊ニ編入セシメラル

明治二十七年四月四日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省達第五十一號  
吳鎮守府所管豫備艦摩耶ヲ警備艦ト定メラル

明治二十七年四月四日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省達第五十二號  
吳鎮守府所管練習艦風翔役務ヲ解カル

明治二十七年四月四日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省達第五十三號  
佐世保鎮守府所管警備艦鳥海役務ヲ解カル

明治二十七年四月四日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省達第五十四號  
明治二十六年四月達第四十號ヲ廢ス

明治二十七年四月四日

海軍大臣伯爵西郷從道

〔参照〕

明治二十六年四月十五日海軍省達第四十號八咫第一豫備艦タル間常設人員ノ件ナリ



○海軍省陸軍第五十五號

海軍ニ於テ海軍軍人軍屬ニアラサル者ヲ旅行セシムルトキハ此ノ規程ニ據リ旅費ヲ支給ス

明治二十七年四月四日

海軍大臣伯爵西郷從道

一海軍ニ於テ他官廳ノ官吏ヲ旅行セシムルトキハ明治十九年閣令第十四號内國旅費規則ニ據リ旅費ヲ支給ス

二海軍ニ於テ公務ノ爲メ華土族平民ヲ旅行セシムルトキハ華族及從六位勳六等以上ニハ明治十九年閣令第十四號内國旅費規則旅費等級三等正七位勳七等以下並無位無勳ノ者ニハ同等級四等ノ旅費ヲ支給ス

三海軍ニ於テ備外國人ヲ旅行セシムルトキハ高等官勳任相當ニハ明治十九年閣令第十四號内國旅費規則旅費等級二等委任相當ニハ同等級三等判任官相當並身分ノ取扱ヲ定メサル者ニハ同等級四等ノ旅費ヲ支給ス

四海軍ニ於テ軍人軍屬ニアラサル證人鑑定人醫師通辯人若クハ翻譯人ヲ軍法會議ニ呼出シタルキハ刑法附則第四十九條及第五十條ニ依リ旅費ヲ支給ス

○陸軍第二十九號

明治十八年達乙第五百四十四號陸海軍喇叭譜同喇叭譜目次同喇叭譜所用區分表中別紙ノ通追加ス

(別紙略ス)

明治二十七年四月九日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○陸軍第三十號

明治二十五年陸軍第五十四號砲臺出入規則中左ノ通改正ス

明治二十七年四月十一日

陸軍大臣伯爵大山 巖

第二條諸官中「大阪」ノ三字ヲ削リ「砲兵工廠將校」ノ次ニ「砲兵第一方面本署將校、工兵方面本署將校」ノ十八字ヲ加ヘ「海軍大臣傳令使、海軍參謀部長、同傳令使、海軍參謀部第一課第一課將校」ヲ海軍大臣秘書官、海軍々司令部長、同部副官、同部第一局將校ニ改ム

第三條諸官中「同副司令官」ヲ「同參謀長」ニ改メ「同傳令使」ノ四字及ヒ「軍港司令官」以下二十字ヲ削ル

第三條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第四條 特命檢閱使及ヒ屬員タル將校ハ其檢閱ヲ命セラレタル師管内ノ砲臺ニ限リ第一條ノ手續キヲ經スシテ出入スルコトヲ得

第四條ヲ第五條ニ改メ第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

警備隊司令官ハ其管内要塞ノ防禦ニ任スル海軍將校ニシテ其職務上必要ト認定スルトキハ該要塞内ノ砲臺ニ限リ出入ヲ承認スルコトヲ得

同條第二項中「議長」ノ下ニ「砲兵工廠提理砲兵第一方面本署長及工兵方面本署長」ノ二十三字ヲ加ヘ「防禦」ヲ「技術」ニ改メ第三項ヲ削ル

第五條ヲ第六條ニ改メ同條ノ「前二條」ヲ「前四條」ニ改ム

第六條ヲ第七條ニ改メ同條第一項「砲工兵方面提理同支署長及同官僚」ヲ「砲兵第二方面本署要塞所在地砲兵方面支署及工兵方面支署將校」ニ改メ「且ツ」ノ下ニ「署長」ハ「ノ」三字ヲ加フ

第七條ヲ第八條ニ改ム

〔參照〕

海軍省達第五十四號砲臺出入規則(明治二十五年六月十三日抄録)

第一條 凡ソ砲臺ニ出入セント欲スルモノハ陸軍大臣ニ出願シ其許可ヲ經ヘシ

第二條 左ニ掲クル諸官職務ノタメ砲臺内ニ出入スルヲ要スルトキハ前條ノ手續ヲ經ルヲ要セス

陸軍次官 軍務局長 陸軍省副官 軍務局第一軍事務長 同局砲工兵事務課將校 砲兵工廠將校

大



參謀總長 參謀次長 參謀本部第一局第二局將校 參謀本部副官  
 監軍 監軍部參謀長 同參謀 同副官 要藥砲兵監 同副官  
 海軍次官 海軍大臣傳令使 海軍參謀部長 同傳令使 海軍參謀部第一課第二課將校  
 第三條 左ニ掲クル諸官職務ノ爲メ砲臺内ニ出入スルヲ要スルトキハ管内ノ砲臺ニ限リ第一條ノ手續ヲ經ルヲ要セス  
 砲臺長 同參謀長 同參謀 同副官  
 砲臺副官 同參謀長 同參謀 同副官  
 砲臺司令官 同參謀長 同參謀 同副官  
 砲臺副司令官 同參謀長 同參謀 同副官  
 砲臺司令官 同傳令使 同副官 要藥司令官 同副官  
 砲臺副司令官 同傳令使 同副官  
 砲臺司令官 砲臺内ノ砲臺ニ限リ部下將校ノ職務上必要ト認定スルトキハ出入ヲ許可スルコトヲ得  
 砲臺副司令官 砲臺内ニ出入セシムルコトヲ得  
 大砲砲兵工廠提理ハ試驗射撃若クハ備砲検査ニ關シ所要ノ人員ヲ砲臺内ニ出入セシムルコトヲ得  
 第五條 前三條ニ依リ砲臺ニ入ラントスルトキハ其所管ヨリ砲臺所管ノ工兵方面提理若クハ同支隊長ニ通知スヘシ  
 第六條 砲臺工兵方面提理同支隊長及同官僚ハ所管砲臺ニ限リ第一條ノ手續キテ出入シ且ツ工作若クハ備砲ニ關シ  
 所要人員ヲ出入セシムルコトヲ得  
 警備隊司令官要藥砲兵隊長警備隊砲兵隊長ハ管内ノ砲臺ニ限リ第一條ノ手續ヲ經スシテ出入シ且ツ其部下將校下士卒ヲ  
 出入セシムルコトヲ得

○陸軍第三十一號

明治二十四年陸軍第百四十三號踏鐵工看病人醫工痘病院病室厨夫定員表中「醫工」ノ次ニ「獸醫助手」ノ横畫ヲ設ケ同畫内「獸醫學校」ノ縦畫ニ「五」ノ一字ヲ加フ

○陸軍第三十二號

明治二十四年陸軍第百一十一號本省及參謀本部監軍部各官衙諸學校舍玄關番以下定員表中「名稱」ノ畫内「牧手」ノ次ニ「病馬役夫」ノ四字及ヒ「獸醫學校」ノ縦畫内「小使」ノ次ニ「病馬役夫」ニ「五」ノ六字ヲ加ヘ計ノ六「三」ニ改ム

○陸軍第三十三號

明治二十三年陸軍第百十九號備員以下給料支給規則備給表中「牧手」ノ次ニ左ノ畫ヲ加フ  
 明治二十七年四月十二日 陸軍大臣伯爵大山 巖

病馬役夫	獸醫助手	一等	五拾	錢
	二等	四拾	錢	
	三等	參拾	錢	
病馬役夫	一等	貳拾	八錢	
	二等	貳拾	五錢	
	三等	貳拾	貳錢	

○海軍省達第五十六號

軍艦機關來歷簿並軍艦機關部缺損簿別冊ノ通定ム (別冊略ス)  
 但本簿ハ水雷艇ニモ適用スヘシ又軍艦機關來歷簿ニ記入スヘキ事項ニシテ其制定以前ニ關スルモノハ成ルヘク詳細取調此際記載スヘシ

明治二十七年四月十二日

海軍大臣伯爵西郷從道

○陸軍第三十四號

劍術教範別冊ノ通定メラル (別冊略ス)

○陸軍第三十五號

劍術用具制式別紙ノ通定ム (別紙略ス)

陸軍大臣伯爵大山 巖



追テ漸次調製スヘシ

明治二十七年四月十三日

陸軍大臣伯爵大山 擬

○宮内省達乙第四號

明治二十三年七月宮内省達第十五號學習院學則第十條ノ次ニ左ノ一條ヲ追加シ以下各條順次繰下ク

華族 學習院

明治二十七年四月十七日

宮内大臣子爵土方久元

第十一條 大學科卒業學生ハ學習院學士ト稱スルコトヲ得

○海軍省達第五十七號

職工人夫給與規則第七條左表第五中第三項ヲ削除シ第六中第四項ヲ左ノ通改正ス

明治二十七年四月十七日

海軍大臣伯爵西鄉從道

艦船試運轉又ハ銃砲水雷試射ノ爲メ艦船ニ乘組港外ニ出張シ旅費ヲ給セサル間ノ服業

○海軍省達第五十八號

艦團隊金銭出納規程第十四條但書中「他ノ主計」ノ下ニ「若クハ其ノ他ノ士官」ノ九字ヲ追加ス

明治二十七年四月十七日

海軍大臣伯爵西鄉從道

〔參照〕

海軍省達第三十三號艦團隊金銭出納規程(明治二十七年三月十五日)抄録

第十四條 金銭ノ仕拂ハ艦團隊内ニ於テ之ヲ執行スヘシ但行軍演習其ノ他臨時非常ニ際シ艦團隊外ニ於テ現金ノ仕拂ヲ要スルモノアルトキハ所轄長ハ他ノ主計ヲシテ分任官トナシ主計長保管金ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ相當ノ保護ヲ爲スヘシ

○海軍省達第五十九號

歳入歳出取扱規程中左ノ通改正ス

明治二十七年四月二十日

海軍大臣伯爵西鄉從道

第三十一條第一項中「各廳毎ニ」ノ四字ヲ刪リ第五項及第六項ヲ左ノ通改正ス

委任仕拂命令官ハ仕拂豫算明細書ノ各廳區分ニ從ヒ前各項ニ依リ送付スル書類ノ内譯書ヲ作り

經理局長ニ送付スヘシ

委任仕拂命令官ハ毎月艦團隊經費ノ整理ニ關スル書類 前波仕拂命令ノ仕譯書及増減ノ通知書現

返納報告書ヲ經理局長ニ送付シ

第二十七條ニ左ノ一項ヲ加フ

委任仕拂命令官ハ仕拂豫算明細書ノ各廳區分ニ從ヒ各廳毎ニ前各項ニ依リ送付スル書類ノ内譯

書ヲ作り經理局長ニ送付スヘシ

第二號書式ヲ別紙ノ通改正メ第八號甲乙書式ヲ刪ル(別紙略ス)

〔參照〕

海軍省達第三百三十六號歳入歳出取扱規程(明治二十六年十二月二十五日)抄録

第三十一條 委任仕拂命令官ハ毎月仕拂命令ヲ發行シタル帳簿ノ結果ニ據リ各廳毎ニ第六號書式甲ノ支出明細報告書ヲ作

リ翌月十五日マテニ經理局長ニ送付スヘシ

委任仕拂命令官前項ニ據リ支出明細報告書ヲ送付シタル後其ノ訂正ヲ要スルモノアルトキハ第六號書式乙ノ訂正報告書

ヲ作り翌月分ノ支出明細報告書ト共ニ經理局長ニ送付スヘシ

委任仕拂命令官本條第一項ニ據リ毎年十二月分ノ支出明細報告書ヲ送付スルトキハ別ニ第七號書式ニ據リ將來支拂フヘ

キ科目金額及事由ヲ詳記シタル當該年度仕拂見込高調書ヲ作り添付スヘシ

委任仕拂命令官前項ニ據リ仕拂見込高調書ヲ送付シタル後増減異動ヲ生シ又ハ生セントスルモノアルトキハ之ヲ精査シ

其ノ金額科目及事由ヲ詳記シタル追加調書ヲ作り其都度經理局長ニ送付スヘシ

委任仕拂命令官ハ艦團隊ノ經費ヲ整理スル帳簿ノ結果ニ據リ第八號書式甲ノ支出合計表ヲ作り關係書類(前波仕拂命令ノ

通知書及現金帳簿等)ヲ提出シ其ノ訂正報告書ヲ添へ支出明細報告書ト共ニ經理局長ニ送付スヘシ該關

係書類ハ經理局長達ニ之ヲ査了シ委任仕拂命令官ニ返付スヘシ

委任仕拂命令官前項ニ據リ支出合計表ヲ送付シタル後其ノ訂正ヲ要スルモノアルトキハ第八號書式乙ノ訂正報告書ヲ作

リ翌月分ノ支出合計表ト共ニ經理局長ニ送付スヘシ



委任仕拂命令官艦隊金銀出納規程ニ據リ殘金返納後ニ前年度ニ屬スル艦隊ニ係ル支出ヲ爲シタルトキハ翌月十日マ  
 テニ該艦名金額科目及事由ヲ詳記シ經理局長ニ報告スヘシ  
 第三十七條 委任仕拂命令官當該會計年度内ニ於テ其ノ仕拂フヘキ支出ノ完了セシテ會計規則第四十四條ニ據リ  
 翌年度六月三十日マテニ仕拂命令ノ發行ヲ要スルモノアルトキハ第十一號格式ノ支出未済報告ヲ作り年度經過後二十日  
 マテニ經理局長ニ送付スヘシ  
 委任仕拂命令官前項ニ據リ支出未済報告ヲ送付シタル後増減異動ヲ生シ又ハ生セントスルモノアルトキハ之ヲ精査シ  
 其ノ金額科目及事由ヲ詳記シタル追加報告ヲ作り其ノ都度經理局長ニ送付スヘシ

○海軍省達第六十號

發明及改良兵器採用手順左ノ通改正ス

明治二十七年四月二十日

海軍大臣伯露西鄉從道

發明及改良兵器採用手順

一 海軍部内ニ於テ兵器及器具ノ發明ヲ爲シ又ハ改良ノ意匠ヲ起シタル者ハ說明書(圖面或ハ雛形  
 アルモノハ之ヲ添ヘ)ヲ添ヘ所管長官ヲ經テ其採用方ヲ軍務局長ニ申出ヘシ  
 一 軍務局長前項ノ申出ヲ受ケ有益ノモノト認ムルトキハ其重要ナルモノニ於テハ技術會議ノ審議  
 ニ附シ或ハ便宜其實驗ヲ爲ス等之カ採否ヲ決スルノ手續ヲ爲スヘシ  
 但試驗品ヲ製造スル場合ニ於テ其發明人又ハ意匠者ヲ立會ハシムルコトアルヘシ

○海軍省達第六十一號

明治二十年十一月普第五六六〇號ヲ左ノ通改正ス

海軍大臣伯露西鄉從道

海軍各學校各練習所及海兵團ニ於テ學生生徒又ハ練習員ニ卒業證書證狀等ヲ授與スルトキハ左ノ  
 諸官其式場ニ列席スルモノトス

- 一 海軍大學校ニ於テ學生ニ卒業證書授與ノトキ  
 海軍大臣 軍令部長 軍務局長 衛生會議々長 軍務局第一課長 軍令部第二局長 砲術

- 二 海軍兵學校ニ於テ生徒ニ卒業證書授與ノトキ  
 海軍大臣 吳鎮守府司令長官 軍務局長 八同局第一課長 軍令部第二局長 練習艦長 生徒

- 三 海軍砲術練習所海軍水雷術練習所及海軍機關學校ニ於テ士官及生徒ニ卒業證書授與ノトキ  
 海軍大臣 橫須賀鎮守府司令長官 軍務局長 八同局第一課長 大學校長 軍令部第二局

長 砲術練習所長 水雷術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長  
 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長  
 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長  
 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長

- 四 海軍砲術練習所海軍水雷術練習所橫須賀鎮守府海兵團及機關工練習所ニ於テ准士官下士卒ニ  
 卒業證書證狀等授與ノトキ  
 橫須賀鎮守府司令長官 軍務局第一課長 軍令部第二局長 砲術練習所長 水雷術練習所長  
 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長  
 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長

砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長  
 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長  
 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長  
 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長 砲術練習所長

- 五 技手練習所ニ於テ技手生徒ニ卒業證書授與ノトキ  
 橫須賀鎮守府司令長官 軍務局第一課長 軍令部第二局長 造兵廠長 機關學校長 橫須  
 賀鎮守府造船部長 機關工練習所長

○海軍省達第六十二號

常備艦隊軍艦派速役務ヲ解カル

海軍大臣伯露西鄉從道



○海軍省達第六十三號

横須賀鎮守府所管練習艦天城ヲ警備艦ト定メラル

明治二十七年四月二十三日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省達第六十四號

海軍里程表別冊ノ通定△(別冊略ス)

明治二十七年四月二十三日

海軍大臣伯爵西郷從道

○海軍省達第六十五號

海軍服裝規則左ノ通定△

明治二十七年四月二十五日

海軍大臣伯爵西郷從道

海軍服裝規則

- 第一條 正服着用ノ場合ハ概ネ左ノ如シ
- 一 一月一日 新年朝拜參賀 新年宴會 天長節 紀元節
- 二 軍艦及勤務ノ廳ヘ臨御ノトキ
- 三 勳章授與式施行ノトキ
- 四 觀兵式及觀兵式拜觀參列ノトキ
- 五 御祭日參内參拜
- 六 靖國神社參拜
- 七 天長節及之ニ齊シキ場合ニ於ケル宴會
- 八 臨時大禮ニ係ル儀式祭典
- 九 前諸項ノ外條例規則ニ明文アルトキ
- 第二條 禮服用ノ場合ハ概ネ左ノ如シ

- 一 拜謁ノ爲メ參内スルトキ
- 二 臨御ノ場所ニ參會スルトキ
- 三 御祝詞ノ爲メ參内スルトキ
- 四 重立タル宴會但夜間ハ正服袴正服劔帶及短劔
- 五 晚餐御陪食但正服袴及正服劔帶
- 六 皇族ノ晚餐但正服袴及正服劔帶
- 七 任官敍位敍勳御禮ノ爲メ參内スルトキ
- 八 進水式ニ參列スルトキ但臨御ノトキハ正服
- 九 學術卒業證書授與式ニ參列スルトキ但臨御ノトキハ正服
- 十 外國ノ軍艦及外國ノ重ナル文武官員ト禮訪交換ノトキ
- 十一 賀儀葬祭
- 十二 臨時ノ儀式祭典
- 十三 前諸項ノ外條例規則ニ明文アルトキ

第三條 軍服用ノ場合ハ概ネ左ノ如シ

- 一 衛兵勤務
- 二 碇泊中當直勤務
- 三 午餐御陪食
- 四 觀花御宴會ニ陪スルトキ
- 五 天機伺ノ爲メ參内スルトキ
- 六 行幸行啓ノ節途上若クハ停車場等ニ於テ奉送奉迎スルトキ
- 七 御陪食御宴會ノ御禮及之ニ齊シキ場合ニテ參内スルトキ



- 八 皇族ノ午餐
- 九 進水式ニ參會スルトキ但臨御ノトキハ禮服
- 十 學術卒業證書授與式ニ參會スルトキ但臨御ノトキハ禮服
- 十一 宴會
- 十二 大祓ニ參列ノトキ
- 十三 歳末御祝詞
- 十四 軍法會議ノ開延及刑罰宣告ノトキ
- 十五 第二條第十項ノ場合ノ外内外國ノ文武官員ヲ訪問スルトキ
- 十六 公暇日日照日點檢及之ニ齊シキ場合
- 十七 及第證書授與式ノトキ
- 十八 政始出廳ノトキ
- 十九 前諸項ノ外條例規則ニ明文アルトキ
- 第四條 軍服ハ第三條ニ掲グル外正服禮服著用ノ場合ヲ除キ一般ニ著用スルコトヲ得
- 第五條 通常軍服ハ前諸條ニ掲グル場合ノ外一般ニ著用スルモノトス又戰時非常若クハ演習其他軍隊勤務ノ場合ニ於テ特令ナキトキハ之ヲ著用スルヲ例トス但所在先任將校ノ指定ニ依リ軍服著用ノ場合ニ於テモ之ヲ著用スルコトヲ得
- 第六條 夏服<sup>夏服</sup>及夏期<sup>夏期</sup>ノ間<sup>内國ニ在テハ九月一日ヨリ六月一日ヨリ</sup>准士官以上及候補生ニ在テハ通常軍服ノ場合ニ著用シ生徒下士卒ニ在テハ軍服及通常軍服ノ場合ニ著用スルモノトス但准士官以上及候補生ニ在テモ炎暑ノ際ニ限リ所在先任將校ノ指定ニ依リ軍服著用ノ場合ニ之ヲ著用スルコトヲ得
- 第七條 夏袴ハ夏期ノ間准士官以上ニ在テハ禮服軍服及通常軍服ニ著用シ候補生生徒及下士卒ニ

- 在テハ軍服及通常軍服ニ著用スルモノトス但會葬夜間及雨天ニハ夏袴ヲ著用セサルモノトス
- 第八條 軍服及通常軍服ニ夏袴ヲ著用シ若クハ夏服ヲ著用スルトキハ軍帽ニ日覆ヲ附シ又ハ夏略帽<sup>アルモノハ夏帽ノ制ヲ用フルモノトス</sup>
- 第九條 正服及禮服著用ノ場合ニ於テ大風雨雪ノトキ若クハ宴會晚餐<sup>宮中ヲ</sup>ニハ正帽ニ代ヘ軍帽ヲ用フルコトヲ得
- 第十條 長劔ハ正服及禮服ヲ著用スルトキ佩用スルモノトス但長劔ノ制ナキ者ハ短劔ヲ佩用スヘシ
- 第十一條 短劔ハ軍服及通常軍服ヲ著用スルトキ佩用スルモノトス但短劔ノ制ナキ者ハ長劔ヲ佩用スヘシ
- 軍服及通常軍服著用ノ場合ニ於テ戰時非常若クハ演習其他軍隊ヲ指揮スルトキハ長劔ヲ佩用スルモノトス
- 第十二條 准士官以上ノ劔帶ハ正服禮服及軍服ニハ上衣ノ外ニ締メ通常軍服及夏服ニハ其内ニ締ムヘシ
- 第十三條 候補生生徒及軍樂員ノ劔帶ハ上衣ノ下ニ締メ下士卒ノ劔帶ハ上衣ノ外ニ締ムヘシ但二等下士以下ニシテ通常軍服ヲ著用スルトキハ上衣ノ内ニ締ムルモノトス
- 第十四條 准士官以上候補生生徒及軍樂員ノ外套ハ防寒ノ爲メ又ハ雨雪ノトキ室外ニ於テ著用スルモノトス但儀式ノ場所ニ於テハ之ヲ著用スルコトヲ得ス
- 第十五條 准士官以上及候補生ノ雨衣ハ雨雪ノトキニ著用スルモノトス但航海中ニ限リ任意ノモノヲ著用スルモ妨ケナシ
- 第十六條 短外套ハ外套ニ代用シ又外套ノ上ニ襲用スルコトヲ得
- 第十七條 下士卒ノ外套ハ專ラ防寒ノ爲メ著用スルモノトス但陸上ニ於テハ雨雪ノトキニモ之ヲ



着用スルコトヲ得

- 第十八條 下士卒ノ雨衣ハ雨雪ノトキニ着用スルモノトス
- 第十九條 准士官以上制服ヲ着用スルトキハ革製ノ短靴ヲ用フルモ、革製ノ短靴ヲ用フルコトヲ得
- 軍服ニハ他ノ革製短靴半靴ヲ用ヒ又雨雪等ノトキハ長靴ヲ用フルコトヲ得
- 夏服ヲ着用シ若クハ通常軍服ニ夏袴ヲ着用スルトキハ白靴ヲ用フルコトヲ得
- 第二十條 劔緒ハ士官以上ニ在テハ金線製ノモノヲ用ヒ准士官ニ在テハ紺色絹絲製ノモノヲ用フ
- ヘシ但軍服及通常軍服ニ限リ士官以上ハ同制式ノ白茶色絹絲製ノモノヲ用フルコトヲ得
- 第二十一條 參謀將校及傳令使ハ飾緒ヲ制服ニ佩フルモノトス但通常軍服ニ限リ同制式ノ絹絲製
- 參謀官ハ白茶色
- 傳令使ハ白色
- ノモノヲ用フルコトヲ得
- 第二十二條 飾緒ハ其上端ヲ右肩ニ掛ケ長條ハ背後ヨリ胸部ニ繞ラシ短條ト共ニ胸部ノ稍々中央
- ニ繫ケ其下端ヲ垂ルヘシ
- 第二十三條 准士官以上及候補生制服ヲ着用スルトキハ白色革製ノ手袋ヲ用フヘシ但通常軍服ニ
- 限リ白色メリヤス製ノモノヲ用フルモ妨ケナシ
- 第二十四條 麻襟及麻襟袴ハ白色ヲ用ヒ襟紐<sup>第二</sup>ハ黑色ヲ用フヘシ
- 第二十五條 制服着用ノトキハ勳章從軍記章及紀念章ヲ佩用スヘシ但軍服及通常軍服ニハ場合ニ
- 依リ佩用セサルモ妨ケナシト雖モ軍服ニハ必ス略綬ヲ佩用スルモノトス又大綬章ハ正服禮服ノ
- ニ佩用スヘシ
- 第二十六條 制服着用ノトキハ上衣ノ外部ニ時計鏈鎖等ノ裝飾物ヲ露ハスコトヲ許サス
- 第二十七條 准士官以上公務ニ非シテ外出(上陸)スルトキハ平服<sup>以下ニ依リ</sup>ヲ着用スルコトヲ得
- トヲ得但少尉及同相當官並ニ候補生ハ歸省參療養等ノ場合ニアラサレハ着用スルコトヲ得
- 第二十八條 艦艇ニ服務ノ准士官以上外國港ニ於テハ公私ヲ問ハス外出(上陸)スルトキ平服ヲ著

用セントスルトキハ先任將校ノ許可ヲ受クヘシ

- 第二十九條 下士卒ハ内外國ヲ別タス總テ制外ノ服裝ヲ許サス
- 第三十條 豫備後備ノ軍人ハ朝拜參賀參拜儀式祭典及召集ニ應スルトキハ現役者ト同様ノ服裝
- ヲ爲スモノトス但其他ノ場合ニ於テハ本則ニ據ラサルモ妨ケナシ
- 退役軍人ノ服裝モ亦前項ニ準據スルモノトス
- 第二十一條 第六條及第七條ニ掲グル夏服及夏袴ノ着用期間ハ艦團隊所校ニ在テハ先任將校ノ指
- 揮ニ從フヘシ
- 第三十二條 病氣其他ノ事故ニ依リ規定外ノ服裝ヲナサントスル者ハ先任將校ノ許可ヲ受クヘシ
- 第三十三條 本則中記載ナキ場合及外國交際上ニ關シテハ先任將校臨時服裝ヲ定ムルコトヲ得

(第一第二圖略ス)

○海軍省達第六十六號

海軍下士卒食器給與規則ニ依リ給與シタル食器ヲ毀損若クハ亡失シタルトキハ本人ノ請求ニ依リ

艦營需品庫ニ於テ相當代價ヲ徴シ其代品ヲ拂下ルコトヲ得

海軍大臣伯爵西郷從道

○會計検査院達第十號

租稅歲入調定額證明規程左ノ通定ム

明治二十七年四月二十五日

會計検査院長子爵渡邊昇

租稅歲入調定額證明規程

- 第一條 會計規則第五十二條第二項ニ據リ歲入調定官ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ租稅歲入調定
- 額計算書ハ別記第一號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 歲入調定官ハ調定超過調定不足期滿免除年期地及變換地アリタルトキハ第二號乃至第



- 五號書式ニ依リ各其明細書ヲ調製シ調定額計算書ニ添付スヘシ
- 第三條 租税調定ニ關スル證憑書類ハ第四條以下各條ニ依リ之ヲ調理シ置キ會計検査院ノ指定ニ隨ヒ之ヲ提出スヘシ
- 第四條 地租ニ關スル證憑書類左ノ如シ
  - 一 官有地ヲ民有地又ハ免租地ヲ有租地ト爲セシモノアルトキハ其指令原讀書及地價檢定ニ係ル指令原讀書
  - 二 地目變換開墾餘下年期明又ハ第一類地ヲ第二類地ニ變換シタルモノアルトキハ地價檢定ニ係ル指令原讀書
  - 三 荒地成若クハ有租地ヲ免租地ト爲セシモノアルトキハ其指令原讀書
  - 但免租地成ニシテ工事著手ノ月ヨリ免スヘキモノハ仍ホ其屆書ヲ要ス
  - 四 民有地ヲ官有地ト爲セシモノアルトキハ除租ニ係ル決議書類
  - 五 低價年期明又ハ荒地免租年期明ニ至リ原地目ニ復シ若クハ他ノ地目ニ變シタルモノアルトキハ地價檢定ニ係ル指令原讀書
  - 六 延納年賦額ノ増減アルトキハ主管廳ノ認許書其廳限リノ處分ニ係ルモノハ其決議書類
  - 七 地盤丈量誤謬訂正其他ノ原因ニテ物件税額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其證憑書類ハ前各項ノ規定ニ準據スヘシ
- 第五條 所得税ニ關スル證憑書類左ノ如シ
  - 一 調査委員會ノ決議書但所得税法第二十九條但書ニ該當スル北海道及東京府管轄小笠原島伊豆七島ハ其上官ノ査定書
  - 二 府縣知事郡長ニ於テ調査委員會ノ決議ニ對シ意見アルトキ若クハ納税者ニ於テ等級金額ヲ不當トシ所得税法第二十條ノ規定ニ從ヒ處分ヲ爲セシモノアルトキハ府縣常置委員會ノ決議書

職書

- 自首ニ依リ税金ヲ追徴セシモノアルトキハ其屆書
- 三 納税者其納期以前ニ於テ所得金高十分ノ五以上ヲ減損シ所得税法第二十三條ニ依リ税額ヲ輕減又ハ免除セシモノアルトキハ其所得金高減損事由書
- 四 納税者他管ヨリ轉入シ若クハ他管ヘ轉出セシモノアルトキハ其年月氏名轉入出地名及所得金高税額ヲ詳悉セル事由書
- 第六條 酒造税ニ關スル證憑書類左ノ如シ
  - 一 酒類造石税ニハ造石檢査簿若シ造石税免除ニ係ルモノアルトキハ其理由及納税濟否ヲ詳悉セル書類
  - 二 酒造免許税ニハ酒造營業人ノ出願書但前期限リ廢業セシモノアルトキハ其屆書
  - 三 自家用料酒鑑札料ニハ其製造者ノ屆書
- 第七條 酒精營業税ニ關スル證憑書類ハ販賣又ハ消費高届出ニ對スル査定書トス
- 第八條 醬麴營業税ニ關スル證憑書類ハ該營業人ノ出願書トス
- 第九條 烟草稅醬油稅菓子稅賣藥稅船稅車稅牛馬賣買免許稅ニ關スル證憑書類左ノ如シ
  - 一 烟草稅醬油稅菓子稅賣藥稅ノ新規營業税ニハ其出願書
  - 但菓子營業税ニハ尙ホ雇人ノ員數氏名屆書ヲ要ス
  - 二 醬油造石税ハ第六條酒類造石税ニ同シ
  - 三 菓子製造税ニハ賣上金高屆書
  - 四 船稅車稅牛馬賣買免許稅ニハ其出願書
  - 但船稅ニ於テハ船體ヲ變更シ積量若クハ間數ニ増減ヲ生シタルモノアルトキハ其鑑札ノ引換願書



- 五 廢業又ハ船車ノ衝破亡失若クハ他管ヨリ轉入ノモノニハ各其屆書他管へ轉出ノモノニハ轉入先ヨリ送致セル編入濟ノ報告書
  - 第十條 取引所稅ニ關スル證憑書類ハ賣買各約定代金高屆書トス
  - 第十一條 米商會所稅株式取引所稅ニ關スル證憑書類ハ各會所ヨリ送致セル納稅仕譯帳トス
  - 第十二條 礦業稅ニ關スル證憑書類ハ礦業條例第三十九條ニ據リタル屆書トス
  - 第十三條 證憑書類ノ編纂ハ各收稅署毎ニ各目ニ區分シ其枚數ヲ表記スヘシ尙ホ細別ヲ要スルモノハ適宜其區分ヲ爲スヘシ但各目ヲ合セテ簿冊ヲ成セシモノハ區分ヲ要セス
  - 第十四條 地租ニ關スル證憑書類ハ有租地成地目變換等ノ區分ヲ以テ適宜之ヲ編纂スヘシ
  - 第十四條 提出セシ證憑書類中返付ヲ要スルモノアルトキハ其提出ノ際之ヲ會計検査院ニ請求スヘシ
- 附則  
第十五條 海關稅及沖繩縣租稅東京府管轄伊豆七島稅品調定ニ關スル證明規程ハ別ニ之ヲ定ム  
第十六條 本規程ハ明治二十六年分ヨリ施行ス

(別記)

(内ハ未登)

- 凡例
- 一 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
  - 二 計算書及明細書用紙ハ厚質特沙引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸ノ綴代ヲ明クヘシ
  - 三 計算書及明細書ハ改換塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

第一號

明治何年度租稅  
調定額計算書

名 應

- 備考
- 一 一項中同一ノ書式ニ據ルヘキモノハ一目ニ就キ其例ヲ示ス他ハ之ニ準スヘシ
  - 二 賦課物件ニ稅率ヲ乘シ課稅額ト符合セサルモノアルトキハ地租ノ例ニ準シ適宜其過不足ノ金額ヲ記載スヘシ
  - 三 兌換銀行券發行稅ニ係ル書式ハ國立銀行稅ニ賣藥營業稅牛馬賣買免稅稅ニ係ル書式ハ醬油營業稅ニ準スヘシ
  - 四 地租改正未済ニ係ルモノアルトキハ一月一日現在高備考ニ其段別率山ヲ掲記スヘシ
  - 五 所得稅納稅者若クハ諸營業者又ハ課稅物件ニシテ北海道管轄内ノ轉入出ニ係ルモノハ其轉入出ノ地名及ヒ氏名ヲ備考ニ掲記スヘシ



地 租 田 租				
摘 要	段 別	地 價		備 考
		可換款合計	調額	
初年一月一日現在高	0	0	0	
増ノ部				
有租地成				
何月拂下	0	0	0	<small>積引年月ノ四ノ十ニ等シ                      積引地租ニテハ以下ノ月                      間地租ニテハ以下ノ月</small>
何月下渡	0	0	0	
何月何々	0	0	0	
計	0	0	0	
地目變換				
知ヨリ變換	0	0	0	
郡村屯地ヨリ變換	0	0	0	
何々	0	0	0	
計	0	0	0	
誤差訂正				
逸算	0	0	0	
何々	0	0	0	
計	0	0	0	
何々	0	0	0	
何々	0	0	0	
計	0	0	0	
増ノ部合計	0	0	0	<small>外添ノ額月算額算年々                      増スニテ</small>

租 稅 內 譯			
摘 要	調 定 濟 額		備 考
	圓	錢	
何々(款)			
何々(項)			
何々(目)	0		
何々	0		
項合計	0		
何々			
何々	0		
何々	0		
項合計	0		
款合計	0		



備 考	摘 要	地 租 田 租										備 考	
		段 別		地 價		租 額		算 出 額		算 出 不足			
		町	區	歩	合	額	率	額	率	額	率		
二 荒ルノ土地 シモノ地モ 記載スヘシ 他ノ一ノ上 アル計ニ依 シテ算上セ キハノ基額 ハニヨク又 其減額ノ所 スヘキニ考 慮セシモハ 減額ノ區又 ノ區ニハ最 前ノ各可領 事由ヲ備考 セ	區價ニ關シ陸 陸ノ下ノ分 別ノ月賦及 何々計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

前六期  
 市考六期  
 街二期  
 宅其所  
 地金所  
 租額ノ  
 事分ノ  
 坪トテ  
 數ハ詳  
 別ニ換  
 算記載  
 スヘシ

備 考	摘 要	地 租 田 租										備 考	
		段 別		地 價		租 額		算 出 額		算 出 不足			
		町	區	歩	合	額	率	額	率	額	率		
減ノ部 官地減 何々計 地目變換 加ノ變換 何々計 何々計 何々計 減ノ部合計 増減差引計	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々計 計 計 計 計 計 計 計 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

列下ノ額月對翌年ヨリ減スヘ  
 キナリ







酒 造 税		酒 造 免 許 税		酒 造	
納 要	箇 数	税 額	備 考	納 要	檢 査 額
					課 税 高
何年四月一日現在高	0	0		清 酒	0
増ノ部				同上並年額分課上取	0
自四月至九月新規營業	0	0		濁 酒	0
一何府縣ヨリ轉入	0	0		調定濟額	
計	0	0			
減ノ部					
自四月至九月廢業	0	0			
一何府縣へ轉出	0	0			
計	0	0			
差引計	0	0			
何年十月繼續營業	0	0			
増ノ部					
自十月至翌年三月新規營業	0	0			
一何府縣ヨリ轉入	0	0			
計	0	0			
減ノ部					
自十月至翌年三月廢業	0	0			
一何府縣へ轉出	0	0			
計	0	0			
差引計	0	0			
調定濟額					

税 釀 造 酒 税		所	
不 數	税 額	備 考	納 要
免除高			
本年并合	0		第 何 等
0	0		調 査 委 員 會 決 議 高
0	0		増ノ部
0	0		税法第二十條ニ據リ追加
0	0		前半年分納税未済何府縣ヨリ轉入
			後半年分納税未済何府縣ヨリ轉入
			何
			計
			減ノ部
			税法第二十條ニヨリ減除
			前半年分納税未済何府縣へ轉出
			後半年分納税未済何府縣へ轉出
			前半年分納税未済何府縣ヨリ轉入
			後半年分納税未済何府縣ヨリ轉入
			何
			計
			第何等差引計
			第 何 等
			調 査 委 員 會 決 議 高
			(以下前例ニ依リ)
			調定濟額



昭和二十七年四月 會計検査院第十號

營業稅			酒精營業稅			
箇數	稅額		摘要	販賣及消費高		稅額
	圓	角		圓	角	
0	0	0	甲種營業人	0	0	0
			乙種營業人	0	0	0
			稅法第五條第二項ニ該当スル者	0	0	0
			調定済額			

二四三

昭和二十七年四月 會計検査院第十號

酒造稅		自家用料酒鑑札料			
備考	摘要	箇數	稅額		備考
			圓	角	
	免許鑑札	0	0	0	
	調定済額				

二四二



烟草税		營業税		摘要
摘要	筒数	税額	備考	
製造營業				
何年四月一日現在高				
増ノ部				證券印紙 手形用紙 烟草印紙 賣藥印紙 計
自四月至六月新規營業				
一、納税済何府縣ヨリ轉入				
計				
減ノ部				
自四月至六月廢業				
一、納税済何府縣へ轉出				
計				
差引計				
何年七月一日現在高				
増ノ部				
自七月至十二月新規營業				
一、納税未済何府縣ヨリ轉入				
一、納税済何府縣ヨリ轉入				
計				
減ノ部				
自七月至十二月廢業				
一、納税未済何府縣へ轉出				
一、納税済何府縣へ轉出				
計				
差引計				

印紙及用紙税						營業	
前年度 ヨリ延 滞越高	本年度 實下高	合計		延納翌年 度へ越高		備考	摘要
		額	率	額	率		
0	0	0	0	0	0		免許繼札 調定済額
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		







製造税			備考	
賣上高	税額		摘要	
0 0	0 0 0		何年一月一日現在高	
			増ノ部	
			自一月至三月新規營業	
			-, 納税未済何府縣ヨリ轉入	
			-, 納税済何府縣ヨリ轉入	
			計	
			減ノ部	
			自一月至三月廢業	
			-, 納税未済何府縣へ轉出	
			-, 納税済何府縣へ轉出	
			計	
			差引計	
			調定済額	

營業税			備考	
賣上高	税額		摘要	
0 0 0	0 0 0		何年四月一日現在高	
			増ノ部	
			自四月至六月新規營業	
			-, 納税済何府縣ヨリ轉入	
			計	
			減ノ部	
			自四月至六月廢業	
			-, 納税済何府縣へ轉出	
			計	
			差引計	
			何年七月一日現在高	
			増ノ部	
			自七月至十二月新規營業	
			-, 納税未済何府縣ヨリ轉入	
			-, 納税済何府縣ヨリ轉入	
			計	
			減ノ部	
			自七月至十二月廢業	
			-, 納税未済何府縣へ轉出	
			-, 納税済何府縣へ轉出	
			計	
			差引計	



明治二十七年四月 達 會計検査院第十號

		葉子税		營業税			
備考	摘要	箇數	税額	備考	摘要	箇數	税額
	減ノ部						
	自七月至十二月廢業	0	0			0	0
	- 雇人何人以上ノ部へ組替	0	0			0	0
	- 納税未済何府縣へ轉出	0	0			0	0
	- 納税済何府縣へ轉出	0	0			0	0
	計	0	0			0	0
	差引計	0	0			0	0
	何年一月一日現在高	0	0			0	0
	増ノ部						
	自一月至三月新規營業	0	0			0	0
	- 納税未済何府縣ヨリ轉入	0	0			0	0
	- 何	0	0			0	0
	計	0	0			0	0
	差引計	0	0			0	0
	雇人十人以上ノ部差引計	0	0			0	0
	雇人何人以上アル者						

二五

明治二十七年四月 達 會計検査院第十號

		葉子税		營業税		葉子	
備考	摘要	箇數	税額	備考	摘要	箇數	税額
	製造營業						
	雇人何人以上アル者						
	何年四月一日現在高	0	0			0	0
	増ノ部						
	自四月至六月新規營業	0	0			0	0
	- 雇人何人以上ノ部ヨリ組替	0	0			0	0
	- 納税済何府縣ヨリ轉入	0	0			0	0
	計	0	0			0	0
	差引計	0	0			0	0
	何年七月一日現在高	0	0			0	0
	増ノ部						
	自七月至十二月新規營業	0	0			0	0
	- 雇人何人以上ノ部ヨリ組替	0	0			0	0
	- 納税未済何府縣ヨリ轉入	0	0			0	0
	- 納税済何府縣ヨリ轉入	0	0			0	0
	計	0	0			0	0
	差引計	0	0			0	0

二五〇







國立銀行稅					
摘要	紙幣下付高		稅額		備考
	圓	錢	圓	錢	
第何國立銀行	0		0		
第何國立銀行	0		0		
調定濟額			0		
<p>何 所</p> <p>公債證書定期買買</p> <p>金銀公債證書何分利付</p> <p>整理公債證書</p> <p>何</p> <p>計</p> <p>諸株式定期買買</p> <p>日本鐵道會社株式</p> <p>日本郵船會社株式</p> <p>何</p> <p>計</p> <p>稅額合計</p> <p>何 所</p> <p>(以下前例=倣フ)</p> <p>調定濟額</p>					

株式取引所稅				米	
額面或ハ株數	買買各約定高		稅額		備考
	圓	錢	圓	錢	
					何 所
					定期買買高
					何 所
					定期買買高
					調定濟額
0	0		0		
0	0		0		
0	0		0		
0	0		0		
0	0		0		
0	0		0		
			0		
			0		
			0		



明治二十七年四月 達 會計検査院第十號

馬車税			船 税 日本形小船				
輛 數	税 額	備 考	納 要	艘 數			税 額
				三 間	四 間	何 々	
0	0		何年四月一日現在高 (以下並船隻数ノ式ニ依テ)	0	0	0	0

二五七

明治二十七年四月 達 會計検査院第十號

備 考	船 税 蒸汽船税			
	納 要	艘 數	噸 數	税 額
	何年四月一日現在高 (以下並船隻数ノ式ニ依テ)	0	0	0

一 日本形大船税ニ於テハ噸數ノ區ヲ石數ト記載スヘシ

二五六



鑛業稅					
備考	摘要	製産高	課税價格	稅額	備考
	製産品目		圓 銭 厘	圓 銭 厘	
	金 銀 何	0	0	0	
	何	0	0	0	
	調定濟額	0	0	0	

鑛業稅 鑛區稅				車稅
摘要	鑛區坪數	稅額	備考	摘要
何年四月一日鑛區現在高	0	0	一 鑛區坪數中一千坪未満ノ端數ハ掲載ヲ要セス	二匹立以上
増ノ部	0	0		何年四月一日現在高
何月某何所何鑛區特許	0	0		(以下如車稅ニ依リテ算ス)
何	0	0		
計	0	0		
減ノ部	0	0		
何月某鑛區廢業	0	0		
何	0	0		
計	0	0		
自何年四月至十二月増減差引計	0	0		
何年一月一日鑛區現在高	0	0		
増ノ部	0	0		
何	0	0		
何	0	0		
計	0	0		
減ノ部	0	0		
何	0	0		
何	0	0		
計	0	0		
自何年一月至三月増減差引計	0	0		
調定濟額	0	0		



北海道水産税

明治何年度租税調定額計算書面ノ通  
相違無之候也  
官 氏 名 印  
會計検査院長宛  
年 月 日

摘 要	價 格		税 額	
	圓	銭	圓	銭
何 組 合				
第 一 類	0		0	
第 二 類	0		0	
計	0		0	
何 組 合				
第 一 類	0		0	
第 二 類	0		0	
計	0		0	
調定済額			0	

第二號

明治何年度租税  
調定超過額明細書

名 姓

- 凡 例
- 一 下戻済額並年度支出ノ區ニハ計算書提出ノ期マテニ本年度所屬調定超過額ニシテ翌年度諸拂戻金ヨリ支出済ノ分ヲ掲クヘシ
  - 二 本年度所屬ノ調定超過額ハ計算書提出ノ期マテニ發見ニ係ルモノヲ記載シ過年度所屬調定超過額ノ分ハ本年度内ニ發見セシモノ、ミツ掲記スヘシ
  - 三 下戻未済額ニ對シテハ備考ヘ其事由ヲ詳記スヘシ但し期滿免除ニ係リタルモノアルトキハ其金額事由ヲ掲出スルモノトス
  - 四 收入官吏若クハ市町村長ニ於テ調定外誤納ヲ爲セシモノアルトキハ摘要ニ調定外誤納額ノ區ヲ設ケ其金額ヲ區分掲上スヘシ



明治何年度租稅調定超過額書面ノ 通り相違無之候也 官 氏 名 印 會計検査院長宛 年 月 日									
摘 要	調定超 過 額	下 戻 濟 額							
		本 年 度 支 出		翌 年 度 支 出		計			
過年度之部									
何々(項)									
何々(目)									
下戻未済年度 超過額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々(項)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々(目)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
項合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
總 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

明治何年度租稅調定超過額書面ノ 通り相違無之候也 官 氏 名 印 會計検査院長宛 年 月 日											
下戻未 済 額	備 考	摘 要	調定超 過 額	下 戻 濟 額						下戻未 済 額	備 考
				本 年 度 支 出		翌 年 度 支 出		計			
0		何々(項)									
0		何々(目)									
0		何々(項)	0	0	0	0	0	0	0	0	
0		何々(目)	0	0	0	0	0	0	0	0	
0		何々(項)	0	0	0	0	0	0	0	0	
0		何々(目)	0	0	0	0	0	0	0	0	
0		計	0	0	0	0	0	0	0	0	
0		何々	0	0	0	0	0	0	0	0	
0		何々	0	0	0	0	0	0	0	0	
0		計	0	0	0	0	0	0	0	0	
0		項合計	0	0	0	0	0	0	0	0	
0		何々									
0		何々	0	0	0	0	0	0	0	0	
0		何々	0	0	0	0	0	0	0	0	
0		計	0	0	0	0	0	0	0	0	
0		項合計	0	0	0	0	0	0	0	0	



明治何年度租税調定不足額書面ノ通 相違無之候也。		調定不足額	
官兵名印 會計検査院長宛 年月日		圓 分 厘	
何	々(項)	0	0
何	々(目)	0	0
<small>初年月終下計可シテ何月ヨリ起算ス トキニ該何々ノ事故ニヨリ調定未済ノホ 何</small>		0	0
	計	0	0
何	々	0	0
何	々	0	0
	計	0	0
	項合計	0	0
何	々		
何	々		
	(以下前例ニ倣フ)		
	總計	0	0

備 考		第三號	
		明治何年度租税	
		調定不足額明細書	
<small>前年下計ニヨリ年終ニ至リテ調定未済ナル 租税額ニ該何々ノ事故ニヨリ未済額 定テ了ス</small>			
		廳 名	







明治何年度租税年期地及變換屆出地 書面ノ通り相違無之候也 官 氏 名 印 會計検査院長宛 年 月 日	荒				
	摘 要	段 別			
何々(目)	町	段	區	歩合	
前年ヨリ越高	0				
増ノ部					
新 規	0				
何 々	0				
計	0				
減ノ部					
本租へ起返	0				
何租へ起返	0				
低價起返	0				
何 々	0				
計	0				
増減差引翌年へ越高	0				
何 々					
(以下前例ニ倣フ)					

地	第五號 明治何年度租税 年期地及變換地明細書 廳 名
備 考	
一 地租條例第十條及第十六條ニ據リ年期ヲ許可セシモノ又ハ變換屆出等 ニ係ルモノハ總テ本書式ニ依リ之ヲ掲上スヘシ	



○會計検査院達第十一號

租稅收入證明規程左ノ通改正ス

明治二十七年四月二十五日

租稅收入證明規程

會計検査院長子爵渡邊昇

第一條 會計規則第九十五條第九十七條ニ據リ收入官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ租稅收入計算書現金出納計算書ハ別記第一號及第二號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 一會計年度中收入官吏ノ交替アリシトキ後任收入官吏ノ證明スヘキ租稅收入計算書ニ於テハ尙ホ前任收入官吏ノ計算額ヲ併算スヘシ  
前任收入官吏ヨリ提出スヘキ收入計算書中調定濟額ハ當該歳入調定官ノ保證ヲ受ケテ之ヲ提出スヘシ

身元保證金ヲ納メタル分任收入官吏交替ノトキハ特ニ其計算書ヲ調製シ證明ヲ爲スコトヲ得但此場合ニ在テハ主任收入官吏ヲ經由スヘシ

第三條 租稅收入未済ノモノ又ハ滞納處分ヲ爲シタルモノアルトキハ別記第二號及第四號書式ニ依リ其明細書ヲ調製シ租稅收入計算書ニ添付スヘシ

第四條 左ノ事項ハ各其計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雜ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所由ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ  
一 前年度繰越ノ收入未済額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其金額事由  
二 市町村ニ於テ亡失税金ノ責任免除ヲ受ケタルモノアルトキハ其金額事由  
三 缺損補填金ヲ受ケタルモノアルトキハ其金額事由  
四 金庫又ハ囑託收入官吏其他へ拂渡未済ニ係ルモノアルトキハ其金額事由

第五條 現金出納證明上提出スヘキ證書書類ハ金庫ノ領收證書トス

第六條 滞納處分ニ關スル證書書類左ノ如シ

一 國稅滞納處分法第十一條ニ據リ囑託收入官吏へ現金ヲ送付シタルモノアルトキハ其領收證書

二 國稅滞納處分法第四十三條ニ據リ債主又ハ滞納者等へ現金ヲ交付シタルモノアルトキハ其領收證書

三 滞納者ノ所在不分明ニ據リ金庫ニ寄託シタルモノアルトキハ保管金領收證書ノ謄本  
財產賣却調書但國稅滞納處分法第五條ニ據リ直ニ缺損處分ヲ爲シタルモノアルトキハ當該長官ノ保證書トモ

第七條 證書書類ハ所屬年度ニ區分編纂シ其金員枚數ヲ表記スヘシ但枚數僅少ナルトキハ合冊ト爲スモ妨ナシ

第八條 下検査官吏ハ計算書ノ下検査ヲ完了シ左ノ期限内ニ其應ヲ發シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

一 收入計算書ハ翌年度九月二十五日以内

二 現金出納計算書ハ翌年度六月二十五日以内

第九條 下検査書ハ計算書毎ニ區分調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ  
一 計算書明細書其他證書書類ノ件名册數

二 租稅收入計算書ハ收入簿ト現金出納計算書ハ現金出納簿ト符合及現存金ヲ認メタル保證但當該下検査官吏ニテ事實執行シ難キ場合ニ於テハ他ノ監督ノ任アル官吏ノ保證書ヲ以テスルコトヲ得

三 事實ニ適合セスト認定セン事項ノ事由金額  
四 證書書類中検査終了ノ上返付ヲ要スル書類ノ件名册數











<p>第二號</p> <p>明治何年度間租稅</p> <p>現金出納計算書</p>	<p>明治何年度租稅收入計算書面之 通相違無之候也</p> <p style="text-align: right;">收入官吏官氏名印</p> <p style="text-align: center;">會計検査院長宛</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p>
<p>應 名</p>	

收 入 濟 額						
摘 要	(主任收入官吏)		(主任收入官吏)		署 名	
	收 稅 部 氏 名	額	某 署 氏 名	額	氏 名	額
何々(項)	0		0		0	
何々	0		0		0	
何々	0		0		0	
合 計	0		0		0	
<small>(主任收入官吏等ノトキ其責任 者、提出スヘキ計算書ニ合計 次ニ此内額ヲ付スヘシ主任官 入官吏ニ於テ付ニ計算書ヲ附シ 提出シ、モニアホトキ、此内ニ 依リ比對スヘシ)</small>	0		0		0	
前任者證明額	0		0		0	
本官證明額	0		0		0	
(現金ヲ預貯セシモノアル トキ、此内額ヲ付スヘシ)	0		0		0	
現金領收高	0		0		0	
何年四月一日ヨリ何年三月三十一日迄ノ外	0		0		0	
何年四月一日ヨリ何年七月三十一日迄ノ外	0		0		0	
計	0		0		0	



分		備 考	摘 要	額	
計				前年度繰込 未済ノ分	
0			何 年 度		
0			何 (項)		
0			何 (目)		
0			計		
			何		
			何		
			計		
0			何年度分合計		
			何 年 度		
0			何		
			(以下前例ニ倣フ)		
			總計		
			身元保証金		
			現金	0	
			公債證券類	0	
			土地建物登記簿	0	
			保証人 氏名		
			氏名		
			(分任収入官吏ニ於テ身元保証金ヲ 納付セザルモアルトキハ主任官吏 ノ捺印ヲ要ス)		

收 済 額		備 考
本年度ノ分	計	
0	0	一 一年度内ニ交替アリタルトキ後任官吏ノ計算書額收済額中(前年度拂込 未済ノ分)ヲ(前任官吏拂込未済ノ分)トナスヘシ 二 拂込未済額ニシテ後任官吏へ引継ガ爲セシモノアルトキハ其事由ヲ備 考ニ記載スヘシ
0	0	
0	0	
0	0	
0	0	
0	0	
0	0	
0	0	
0	0	
0	0	







滞 納 處 分 金 各 署 區 分						
摘 要	拂 渡 濟 額					
	歳入へ組換額	他管轄區へ送付額	保主又は海關者へ交付額	何々		計
	圓	圓	圓	圓	圓	圓
某地收税署主任收入官吏氏名	0	0	0	0	0	0
某地收税署主任收入官吏氏名	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

滞 納 處							
滞 波 未 済 額	備 考	收 入 濟 額					摘 要
		前年度拂渡未済ノ分	本年度ノ分		計		
圓		圓	圓	圓	圓		
0	一 分任收入官吏ノ交替アリシトキハ其氏名ヲ列記シ各其管理期起終年月日ヲ備考ニ記載スヘシ	0	0	0	0	何 年 度	
0		0	0	0	0	何々々(目)	
0		0	0	0	0	何々々 計	
0		0	0	0	0	何々々	
0		0	0	0	0	何々々 計	
0		0	0	0	0	何年度分合計	
0		0	0	0	0	何 年 度	
0		0	0	0	0	何々々	
0		0	0	0	0	以下前例ニ依フ	
0		0	0	0	0	總計	



第三號

明治何年度租稅  
收入未濟額明細書

應 名

備考

何+事 故=依リ何年何月出  
款ノ外款對未定=依ル  
何+事 故=依リ何年何月未  
済ノ分

一 前年度ヨリ繰越未收入額ニシテ本年度中尙ホ收入ニ至ラ  
サルモノアルトキハ各之ヲ別項トナシ毎年度ニ區分掲記  
スヘシ

明治何年度間租稅現金出納計算書面之通  
相違無之候也

主任收入官吏官氏名印  
會計検査院長宛  
年 月 日

收入 濟 額					
前年度拂 渡未済ノ分		本 年 度 分		計	
圓	錢	圓	錢	圓	錢
0		0		0	
0		0		0	
0		0		0	



摘要	納期 年月日	信託令 年月日	金額	
			額	率
何々(項)			0	0
何々(目)			0	0
住所氏名			0	0
住所氏名			0	0
納期以前ニ屬スル分 <small>(収入官吏交付ノ際未収入額中納期以前ニ屬スルモノアルトキノ限)</small>			0	0
計			0	0
何々 <small>(以下前例ニ倣フ)</small>			0	0
項合計			0	0
何々(項)				
何々 <small>(以下前例ニ倣フ)</small>				
總計			0	0

明治何年度租税收入未済額書面  
之通相違無之候也

收入官吏官氏名印  
會計検査院長宛  
年月日

備考	備
	<p>第四號</p> <p>明治何年度租税</p> <p>滞納處分金明細書</p> <p>應 名</p>
一	租年度ヨリ租額未納ノ額ニテ本年租額中納付セシモノアルトキハ之ヲ別項トナシ租年度ニ屬スル額ニ屬スル額ノ際受入ノ額納付ノ額トキハ其代金ヲ納付物者納付代價ノ際ニ併算シテ其金額ヲ別分
二	租年度中租額未納ノ額ニテ本年租額中納付セシモノアルトキハ其代金ヲ納付物者納付代價ノ際ニ併算シテ其金額ヲ別分
三	租年度中租額未納ノ額ニテ本年租額中納付セシモノアルトキハ其代金ヲ納付物者納付代價ノ際ニ併算シテ其金額ヲ別分
四	租年度中租額未納ノ額ニテ本年租額中納付セシモノアルトキハ其代金ヲ納付物者納付代價ノ際ニ併算シテ其金額ヲ別分
五	租年度中租額未納ノ額ニテ本年租額中納付セシモノアルトキハ其代金ヲ納付物者納付代價ノ際ニ併算シテ其金額ヲ別分
六	租年度中租額未納ノ額ニテ本年租額中納付セシモノアルトキハ其代金ヲ納付物者納付代價ノ際ニ併算シテ其金額ヲ別分
七	租年度中租額未納ノ額ニテ本年租額中納付セシモノアルトキハ其代金ヲ納付物者納付代價ノ際ニ併算シテ其金額ヲ別分
八	租年度中租額未納ノ額ニテ本年租額中納付セシモノアルトキハ其代金ヲ納付物者納付代價ノ際ニ併算シテ其金額ヲ別分







受 托 處 分

受 托 年月日	委託 年月日	委託 年月日	委託 年月日	委託 年月日	委託 年月日	受 託 部		計	備 考	拂 込 費	
						金額	何々			元	角
						0	0	0	何 様(稱) (署名)		
						0	0	0	何 々(項)		
						0	0	0	何 々(目)		
						0	0	0	住所氏名	0	
						0	0	0	住所氏名	0	
						0	0	0	基幹何名買却法行前 完納ノ券	0	
						0	0	0	基幹何名買却法行前 未納ノ券	0	
						0	0	0	計	0	
						0	0	0	何 々		
						0	0	0	(以下前例ニ依フ)		
						0	0	0	項合計	0	
						0	0	0	何 々(項)		
						0	0	0	何 々		
						0	0	0	(以下前例ニ依フ)		
						0	0	0	總 計	0	

明治何年度租税滞納處分金書面ノ通知  
違無之候也

収入官吏官氏名印  
會計検査院長宛  
年 月 日

○陸軍第三十六號

明治十三年達乙第六十五號陸軍軍人軍屬喪服父母祭日休務規則中左ノ通り改正ス

明治二十七年四月二十六日

陸軍大臣伯爵大山 巖

第二條中「所管」ヲ「所屬」ニ改ム

〔參照〕

陸軍省達乙第六十五號陸軍軍人軍屬喪服父母祭日休務規則(明治十三年十月九日抄録)

第二條 本務繁劇ナル時ハ休務ノ日數未タ滿タスト雖トモ其所管長官除服出務ヲ命スルヲ得ヘシ

第七條 軍人軍屬父母ノ祭日ニハ休暇ヲ許ス然レトモ本務繁劇ナル時ハ之ヲ許サ、ルコトアルヲ以テ祭日前其長官團隊長  
所屬長ニ申請スヘシ

但諸生徒並ニ生兵ハ休暇ヲ許サス



○會計検査院達第十二號

沖繩縣租稅及伊豆七島稅品歲入調定額證明規程左ノ通定

明治二十七年四月二十六日

會計検査院長子爵渡邊昇

沖繩縣租稅及伊豆七島稅品歲入調定額證明規程

第一條 會計規則第五十三條第二項ニ據リ歲入調定官ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ沖繩縣租稅及

伊豆七島稅品調定額計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 歲入調定官ハ調定超過、調定不足、期滿免除ニ係リタルモノアルトキハ其金額事由及處分

ノ顛末ヲ計算書ノ備考ニ掲載スヘシ但事ノ複雜ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所由ヲ確認シ得ヘ

キ書類ヲ添付スヘシ

第三條 歲入調定ニ關スル證書書類ハ左ノ順序ニ依リ之ヲ調理シ置キ會計検査院ノ指定ニ隨ヒ之

ヲ提出スヘシ

一 地租ニ關シテハ土地異動ニ依リ増減ヲ生セシモノハ其指令原簿書、石代納ノモノハ石代平

均相場書臨時交換納ノモノハ其出願書

二 所得稅ニ關シテハ知事ノ査定書、納期以前ニ於テ所得金十分ノ五以上ヲ減損シタル爲稅額

ヲ輕減又ハ免除シタルモノアルトキハ其所得金高減損事由書、納稅者他管ヨリ轉入又ハ他

管へ轉出セシモノアルトキハ其年月日氏名轉居地名及ヒ所得金高稅額ヲ詳悉セル事由書

三 酒造免許稅及船稅ニ關シテハ其出願書

四 沖繩縣酒類出港稅ニ關シテハ該稅則第三條及第四條ニ基キタル荷主及船長ノ届書

五 鑛業稅ニ關シテハ鑛業條例第三十九條ニ據リタル届書

第四條 證書書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其枚數ヲ表記スヘシ尙ホ細則ヲ要スルモノハ適宜區分

スヘシ但各目ヲ合セテ簿冊ヲ成セシモノハ區分ヲ要セス

第五條 前各條ニ規定セサルモノアルトキハ總テ租稅歲入調定額證明規程ノ例ニ依ル

附 則

第六條 本規程ハ明治二十六年分ヨリ施行ス

(別記)

(内ハ朱書)

- 凡 例
- 一 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
  - 二 收入官吏交替ニ依リ會計年度ヲ通セサルモノアルトキハ計算書表題何年度ノ次ニ其取扱ニ係ル年月日ヲ記載スヘシ
  - 三 計算書及明細書用紙ハ厚實縹紗引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸ノ綴代ヲ明クヘシ
  - 四 計算書及明細書ハ改描塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

一 伊豆七島ノ分ハ租稅ヲ伊豆七島稅品ト記載スヘシ

明治何年度租稅

調定額計算書

名 廟



得 税				
所得金高		税 額		備 考
圓	銭	圓	銭	
0		0		租 税 内 譯
0		0		
0		0		
0		0		
0		0		
0		0		
0		0		
0		0		
0		0		
0		0		
0		0		
0		0		
0		0		
0		0		
0		0		

摘 要	調 定 額		備 考
	圓	銭	
現金ノ部			<p>備 考</p> <p>一 地租ニ對シテハ從前ノ調定額明細書式ニ依リ別ニ明細書ヲ調製シテ之ヲ添付スヘシ</p> <p>二 本書式中様式ヲ示サ、ルモノハ此例ニ準シ適宜調製スヘシ</p> <p>三 既往ヘ溯リ賦課額調定超過額調定不足前年度ヨリ繰越額及ヒ調定不足翌年度ヘ繰越額ニ屬スルモノアルトキハ所得税ノ例ニ依ルヘシ</p>
何々々(項)			
何々々(目)	0		
何々々	0		
項合計	0		
何々々			
何々々	0		
何々々	0		
項合計	0		
何々々			
(以下前例ニ同シ)			
現金ノ部合計	0		
物品ノ部			
何々々(項)			
何々々(目)			
何々々			
何々々			
何々々			
何々々			



酒造免許税				所
人員	延月數	税額		備考
		圓	銭	
0	0	0	0	既往へ湖り賦課 何年分納税未済何年分納税 何々 計 調定超過額 税額總計 調定済額
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	

得 税				所
人員	所得金額	税額		備考
		圓	銭	
0	0	0	0	何年月税額全額可賦付ス 何々 (調り賦課スヘキ者 何々 (算上スヘシ 分納上スヘシ)
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	



船 稅 蒸 汽 船 稅				備 考	沖
摘 要	艘 數	噸 數	稅 額		
何年四月一日現在高	0	0	0	甜 盛 燒 泡 何 調定濟額	
増ノ部					
自四月至六月新造	0	0	0		
一、納稅濟何府縣ヨリ轉入	0	0	0		
計	0	0	0		
減ノ部					
自四月至六月解破	0	0	0		
一、納稅濟他府縣へ轉出	0	0	0		
計	0	0	0		
差引計	0	0	0		
何年七月一日現在高	0	0	0		
増ノ部					
自七月至十二月新造	0	0	0		
一、納稅濟他府縣ヨリ轉入	0	0	0		
一、納稅濟他府縣ヨリ轉入	0	0	0		
計	0	0	0		
減ノ部					
自七月至十二月解破	0	0	0		
一、納稅濟他府縣へ轉出	0	0	0		
一、納稅濟他府縣へ轉出	0	0	0		
計	0	0	0		
差引計	0	0	0		

繩 縣 酒 類 出 港 稅			備 考	酒 造 稅	
石 數	稅 額			摘 要	
石	額	備		米 粟 釀 造 繼 續 營 業 増ノ部 何月新規營業 何月 計 減ノ部 何月廢業 何月 計 差引計 黍 釀 造 繼 續 營 業 (以下前例=做フ) 調定濟額	
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			
0	0	0			



明治二十七年四月 會計検査院第十二號

日本形小船税		日本形大船 船 税			
税 額	備 考	摘 要	艘 数	航海度數 或延月數	税 額
圓		琉 球 形 船			圓
		<u>月 税ノ部</u>			
		何 反 帆 船	0	0	0
		何 反 帆 船	0	0	0
		同上 滞 納 利 子	0	0	0
		計			0
		<u>航 海 税ノ部</u>			
		何 反 帆 船	0	0	0
		何 反 帆 船	0	0	0
		同上 滞 納 利 子	0	0	0
		計			0
		調 定 済 額			0

三〇〇

明治二十七年四月 會計検査院第十二號

蒸 汽 船 税		船 税			
備 考	摘 要	艘 数	噸 数	税 額	備 考
	何年一月一日現在高	0	0	0	
	<u>増ノ部</u>				
	自一月至三月新造	0	0	0	
	一、納税未済何府縣ヨリ轉入	0	0	0	
	一、納税済何府縣ヨリ轉入	0	0	0	
	計	0	0	0	
	<u>減ノ部</u>				
	自一月至三月解破	0	0	0	
	一、納税未済何府縣へ轉出	0	0	0	
	一、納税済何府縣へ轉出	0	0	0	
	計	0	0	0	
	差 引 計	0	0	0	
	調 定 済 額			0	

三〇〇



鑛業稅		鑛區稅		備考	摘要
摘要	鑛區坪數	稅額			
何年四月一日鑛區現在高	0	0	0	一 鑛區坪數中一千坪未滿ノ端數ハ掲載ヲ要セス	製產品目 金銀何々 調定済額
増ノ部					
何月某～何所何鑛區特許何々	0	0	0		
計	0	0	0		
減ノ部					
何月某鑛區廢業何々	0	0	0		
計	0	0	0		
自何年四月至十二月増減差引計	0	0	0		
何年一月一日鑛區現在高	0	0	0		
増ノ部					
何何々	0	0	0		
計	0	0	0		
減ノ部					
何何々	0	0	0		
計	0	0	0		
自何年一月至三月増減差引計	0	0	0		
調定済額		0	0		

業稅				船稅			
製造高	課稅價格	稅額	備考	摘要	艘數		
					三間	四間	何々
0	0	0		何年四月一日現在高 (以下蒸氣船及ノ例ニ依フ)			0
0	0	0					
0	0	0					



明治何年度租税(税品)測定額計算書面  
ノ通相違無之候也

官 氏 名 印

會計検査院長宛

年 月 日

○會計検査院達第十三號  
沖繩縣租税及伊豆七島税品收入證明規程左ノ通定ム

會計検査院長子爵渡邊昇

明治二十七年四月二十六日

沖繩縣租税及伊豆七島税品收入證明規程

第一條 會計規則ニ據リ收入官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ租税收入計算書現金出納計算書税  
品及買上砂糖出納計算書ハ別記第一號乃至第三號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 一會計年度中收入官吏ノ交替アリシトキ後任收入官吏ノ證明スヘキ租税收入計算書ニ於  
テハ尙ホ前任收入官吏ノ計算額ヲ併算スヘシ  
前任收入官吏ヨリ提出スヘキ收入計算書中測定額ハ當該歳入測定官ノ保證ヲ受ケテ之ヲ提出

スヘシ

身元保證金ヲ納メタル分任收入官吏交替ノトキハ特ニ其計算書ヲ調製シ證明ヲ爲スコトヲ得但  
此場合ニ在テハ主任收入官吏ヲ經由スヘシ

第三條 租税收入未済ノモノアルトキハ別記第四號書式ニ依リ其明細書ヲ調製シ租税收入計算書  
ニ添付スヘシ

第四條 左ノ事項ハ各其計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雑ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所由  
ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ

一 前年度ニ於テ證明ニ係ル繰越未收入額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其金額事由

二 欠損補填ヲ受ケタルモノアルトキハ其金額事由

三 金庫へ拂込未済ニ係ル金額アルトキハ其事由

第五條 現金出納證明上提出スヘキ證書書類ハ金庫ノ領收證書トス

第六條 税品及買上砂糖出納證明上提出スヘキ證書書類左ノ如シ

一 會計規則第八十條第八十一條ニ基キタル契約書

二 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但再入札ノ場合ニ於テハ前公告書共

三 豫定價額調書

四 落札以下三番札迄但再入札ノ場合ニ於テハ前入札最高以下三番札ノ分共

五 隨意契約ヲ以テ賣却シタルトキハ其契約書但契約書ヲ要セザリシモノハ其賣却ノ年月日金

額及買受人ノ氏名ヲ記載セル仕譯書

六 税品及買上砂糖ノ亡失毀損ニハ其品目數量見積價格及亡失毀損ニ係ル事實ヲ詳記シテ當該

上官ノ認定ヲ經タル書類其既ニ辨償ニ係ルモノハ尙ホ其品目數量及辨償金額ノ仕譯書

七 税品及買上砂糖ノ賣却未済ニシテ翌年度へ繰越シタルモノアルトキハ其品目數量所在地及



賣却未済ノ事由ヲ詳記シタル説明書  
第七條 證憑書類ノ編纂ハ各自ニ區分シ其枚數ヲ表記スヘシ尙ホ細別ヲ要スルモノハ適宜區分ヲ爲スヘシ

第五條 現金出納ニ關スル證憑書類ハ其所屬年度ニ依リ區分シ第六條中第六項第七項ハ各別ニ之ヲ編纂スヘシ

第八條 下検査官吏ハ計算書ノ下検査ヲ完了シ左ノ期日内ニ其應ヲ發シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

一 租稅收入計算書稅品及買上砂糖出納計算書ハ翌年度十月二十五日以内  
二 現金出納計算書ハ翌年度七月二十五日以内

第九條 下検査書ハ計算書毎ニ區分調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 計算書若クハ證憑書類ノ件名册數
- 二 租稅收入計算書ハ收入簿ト現金出納計算書稅品及買上砂糖出納計算書ハ各共出納簿ト符合及現存額ヲ認メタル保證但當該下検査官吏ニテ事實執行シ難キ場合ニ於テハ他ノ監督ノ任アル官吏ノ保證書ヲ以テスルコトヲ得
- 三 事實ニ適合セスト認定セシ事項ノ事由金額

第十條 收入官吏ニ發スル審理書及ヒ之ニ對スル報答書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ

附則

第十一條 本規程ハ明治二十六年分ヨリ施行ス

第十二條 明治二十七年一月一日以前ヨリ收入官吏ノ職ニ在テ引續キ分任收入官吏トナリタルモノハ總テ其計算ヲ主任收入官吏ノ計算書ニ併算シ其事由ヲ備考ニ記載スヘシ

(別記)

凡例

- 一 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
- 二 收入官吏交替ニ依リ一會計年度ヲ通セザルモノアルトキハ計算書表紙何年度ノ次ニ其取扱ニ係ル年月日ヲ記載スヘシ
- 三 計算書及明細書用紙ハ厚質淨沙引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸ノ綴代ヲ明クヘシ
- 四 計算書及明細書ハ改描塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

第一號

一 伊豆七島ノ分ハ租稅ヲ伊豆七島稅品ト記載スヘシ

明治何年度租稅

收入計算書

應名



部		現										備 考	摘 要	
入 未 済 額		調 定 済 額												
本 年 度 未 済 額	計	前 年 度 未 済 額	本 年 度 未 済 額	助 成 金	税 品 等	計	前 年 度 未 済 額	本 年 度 未 済 額	助 成 金	税 品 等	計			
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	何々項 何々(出) 何々 項合計	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	何々 何々 項合計		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			何々 何々 項合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

金		部										備 考
收 入 済 額		不 納 賦 額		收 入 未 済 額								
前 年 度 未 済 額	計	前 年 度 未 済 額	計	前 年 度 未 済 額	本 年 度 未 済 額	助 成 金	計	前 年 度 未 済 額	本 年 度 未 済 額	助 成 金	計	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	一 調定外誤納アリタルトキハ收入済額(本年度納額達ノ分)ノ次ニ(調定外誤納)ノ一區ヲ設ケ其員數ヲ掲上シ備考ニ其事由ヲ記載スヘシ 二 不納賦額ニ對シテハ缺損トナリシ事實ヲ備考ニ詳記スヘシ物品ノ部亦同シ
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	



明治二十七年四月 達 會計検査院第十三號

收入濟額區分 (物品ノ部徴收濟額區分ニ準ス)									
(主任收入官吏)			(分任收入官吏)			計	備考	調	
收稅部氏名	某氏名	某氏名	某氏名	某氏名	前年度收入 未済ノ分			本年収入 未済ノ分	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

明治二十七年四月 達 會計検査院第十三號

物品							
定濟額		摘要	徴收濟額			不納款 損額	收 前年度收入 未済ノ分
本年収入 未済ノ分	計		前年度收入 未済ノ分	本年収入 未済ノ分	計		
0	0	何々(項)				0	0
0	0	何々(目)				0	0
0	0	米 上 布	0	0	0	0	0
0	0	何々	0	0	0	0	0
0	0	何々	0	0	0	0	0
0	0	何米	0	0	0	0	0
0	0	何米	0	0	0	0	0
0	0	何米	0	0	0	0	0
0	0	何米	0	0	0	0	0
0	0	何米	0	0	0	0	0



第二號	
備 考	明治何年度間租稅 現金出納計算書
<p>一 一年度内ニ交替アリシトキ後任官吏ノ計算書領收濟額中(前年度拂込未済ノ分)ヲ(前任官吏拂込未済ノ分)トナスヘシ</p> <p>二 拂込未済額ニシテ後任官吏ヘ引繼ラ爲セシモノアルトキハ其事由ヲ備考ニ記載スヘシ</p>	應 名

(現金ノ部)	
明治何年度租稅(稅品)收入計算書面ノ通相違無之候也	
收入官吏官兵名印	
會計検査院長宛	
年 月 日	
何	々 (項)
何	々
何	々
合計	
<small>主任收入官吏兼官ノトキ其後任者ノ提出スヘキ計算書ニハ合計ノ次ニ其後任者ヲトシテ分任收入官吏ニ其後任者ニ計算書ヲ領收済額中ノモノアルトキハ此例ニ依リ監査院ニ記スヘシ</small>	
前任者證明額	
本官證明額	
(現金ヲ領收セシモノアルトキハ此例ヲ付スヘシ)	
現金領收高	
何年四月一日ヨリ何年三月三十一日迄ノ分	
何年四月一日ヨリ何年七月三十一日迄ノ分	
計	



明治二十七年四月 逓 會計検査院第十三號

明治何年度間租税現金出納計算書面ノ通相送  
無之候也

主任收入官吏官氏名印  
會計検査院長宛  
年 月 日

摘 要	
何 年 度	何 々 (元)
何 々	何 々 (日)
何 々	何 々
計	
何 々	何 々
何 々	何 々
何 々	何 々
計	
何年度分合計	
何 年 度	何 々
何 々	何 々
(以下前例ニ依フ)	
總計	
身元保證金	0
現 金	0
公債證書額面	0
何 々	0
保 證 人 氏 名	氏 名
保 證 人 氏 名	氏 名

(主任收入官吏ニ於テ身元保證金ヲ納付シシモノアリトキハ主任官吏ノ身元保證シ得ルニ依リ)

三一五

領 收 濟 額						拂 込 済 額		拂 込 未 済 額	
前年度拂込未済ノ分		本年度ノ分		計		拂 込 済 額		拂 込 未 済 額	
圓	銭	圓	銭	圓	銭	圓	銭	圓	銭
0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0	

明治二十七年四月 逓 會計検査院第十三號

三一四



明治何年度

税品及買上砂糖出納計算書

一 伊豆七島ノ分ニハ及買上砂糖ノ五字ヲ除ク未文亦同シ

廳 名

部	
残高	備考
0	一 残高ノ區ニハ尋年度七月三十一日迄ニ賣却未済ニ係ルモノヲ掲載スヘシ
0	
0	
0	
0	
0	

物 品								
摘 要	受 入 部			拂 入 部				
	前年度ヨリ越	本年度ノ分	數差	量増	計	賣却	亡失毀損	計
米	0	0	0		0	0	0	0
上 布	0	0	0		0	0	0	0
白 何	0	0	0		0	0	0	0
何 何	0	0	0		0	0	0	0
買 上 砂 糖	0	0	0		0	0	0	0



<p style="text-align: center;">明治何年度税品及買上砂糖出納計算書面ノ通相 送無之候也</p> <p style="text-align: center;">收入官吏官氏名印</p> <p style="text-align: center;">會計検査院長宛</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p>	<p style="text-align: center;">摘 要</p> <p>米 上 布 白 何 何 何</p> <p style="text-align: right;">計</p> <p>田租ノ分</p> <p>加租ノ分</p> <p>買上砂糖ニ係ル買入ノ分</p> <p style="text-align: right;">計</p>
--	--

賣 却 代 金 ノ 部									
前 年 繰 上 り	物 品		本 年 度 徴 收 物 品		数 量 差 増		計		備 考
	数 量	代 價	数 量	代 價	数 量	代 價	数 量	代 價	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	



現金ノ																																					
明治何年度租税收入未済額書面ノ通相違 無之候也  收入官吏官氏名印  會計検査院長宛  年 月 日	<table border="1"> <tr> <th>摘要</th> <th>徴税切符發 遺年月日</th> </tr> <tr> <td>何 (項)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>何 (目)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>何間切何村掟氏名</td> <td>何年何月日</td> </tr> <tr> <td>何間切何村掟氏名</td> <td>何年何月日</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>何</td> <td></td> </tr> <tr> <td>何間切何村掟氏名</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>何間切何村掟氏名</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>項合計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>何</td> <td></td> </tr> <tr> <td>何</td> <td></td> </tr> <tr> <td>何間切何村掟氏名</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>何間切何村掟氏名</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>項合計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>總計</td> <td></td> </tr> </table>	摘要	徴税切符發 遺年月日	何 (項)		何 (目)		何間切何村掟氏名	何年何月日	何間切何村掟氏名	何年何月日	計		何		何間切何村掟氏名	"	何間切何村掟氏名	"	計		項合計		何		何		何間切何村掟氏名	"	何間切何村掟氏名	"	計		項合計		總計	
摘要	徴税切符發 遺年月日																																				
何 (項)																																					
何 (目)																																					
何間切何村掟氏名	何年何月日																																				
何間切何村掟氏名	何年何月日																																				
計																																					
何																																					
何間切何村掟氏名	"																																				
何間切何村掟氏名	"																																				
計																																					
項合計																																					
何																																					
何																																					
何間切何村掟氏名	"																																				
何間切何村掟氏名	"																																				
計																																					
項合計																																					
總計																																					

部 (物品ノ部モ之ニ準ス)			第四號
納期	税 額	備 考	明治何年度租税  收入未済額明細書     應 名
前年初月日	0	何々ノ事故ニ依リ徴 収未済	
前年初月日	0		
計	0	一 前年度ヨリ繰越未收入額ニシテ本年度中尙ホ收入ニ至ラ サルモノアルトキハ之ヲ別項トナシ毎年度ニ區分掲記ス ヘシ物品ノ部亦同シ	
"	0		
"	0		
"	0		
計	0		
計	0		



○海軍省達第六十七號

明治二十六年勅令第三十九號及第四十一號ニ依ル定員ニシテ海兵團ヨリ通勤スル下士卒ノ俸給諸給扶助金被服修補費ハ二十七年年度以降勤務廳ニ於テ支給スヘシ

明治二十七年四月二十七日

海軍大臣伯耆西郷從道

〔參照〕

明治二十六年五月二十勅令第三十九號ハ鎮守府條例同第四十二號ハ鎮守府監督部條例ナリ

○會計検査院達第十四號

海關稅及稅關雜收入調定額證明規程左ノ通定ム

明治二十七年四月二十七日

會計検査院長子爵渡邊昇

海關稅及稅關雜收入調定額證明規程

第一條 會計規則第五十二條第二項ニ據リ歲入調定官ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ海關稅調定額計算書稅關雜收入調定額計算書ハ別記第一號第二號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 歲入調定官ハ別記第三號第四號書式ニ依リ預リ稅明細書海關稅調定超過額明細書ヲ調製シ海關稅調定額計算書ニ添付シ第五號第六號書式ニ依リ假預及無請求品明細書稅關雜收入調定超過額明細書ヲ調製シ稅關雜收入調定額計算書ニ添付スヘシ

第三條 歲入調定額證書類ハ毎月之ヲ整理シ翌々月末日迄ニ之ヲ歲入事務管理廳ニ送付スヘシ

第四條 海關稅調定上提出スヘキ證書類ハ輸出入品願書及無請求品ニ屬スル稅額仕譯書ト

但輸出入品願書ニハ調定ノ年月日又預リ稅ヲ爲シタル願書ニハ共預リ稅ノ金額ヲ付記スルヲ要ス

第五條 稅關雜收入調定上證書類トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ

一 出入港銀借庫敷料火藥庫敷料臨時開港及貨物積卸特許手敷料船難報告及同證書手敷料共他諸證書手敷料ノ類ハ其願書

二 破封罰金偽告罰金積荷目録脫漏品罰金又ハ科料官沒品拂下其他願書ナキモノニ對シテハ上納書若クハ仕譯書

三 無請求品其他官沒品ノ賣却ニ對シテハ其契約書

但契約書ヲ要セザリシモノハ其決議書

四 無請求品公賣ノトキ入札法ニ依ラス賣却ニ付セシモノアルトキハ其勘定書

第六條 會計規則第八十條第八十一條ニ基キ競争契約ヲ爲セシモノアルトキハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但再入札ノ場合ニ於テハ前公告書共

二 豫定價格調書

三 落札以下三番札迄但再入札ノ場合ニ於テハ前入札三番札迄ノ分共

第七條 證書書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其金員枚數ヲ表記シ尙細別ヲ要スルモノハ適宜其區分ヲ爲スヘシ但各目ノ枚數僅少ナルトキハ合冊ト爲スモ妨ケナシ

第八條 證書書類ハ検査完結スルニ隨ヒ悉皆當該官廳ニ返付スヘシ

附則

第九條 本規程ハ明治二十六年年度分ヨリ施行ス

(別記)

明治二十七年四月 會計検査院第十四號

三三三



第一號

明治何年度  
海 關 稅  
調 定 額 計 算 書

- 一 計算書及内附書明細書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各自計算書及内附書明細書ニ記載スヘシ
- 二 訂正ヲ要スルハ改竄塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテハ用紙ハ厚質膠沙引美濃紙ヲ用非左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明クヘシ

名 應

調 定 額	備 考
圓 圓 圓	
0	
0	
0	

明治何年度海關稅調定額計算書面ノ通相違無之候也

主任官氏名印  
會計検査院長宛  
年 月 日

摘 要

海 關 稅

輸 出 稅	
輸 入 稅	
合 計	







摘 要	拂 出 高			翌年度へ越高	備 考
	本税へ納付高	返 戻 高	計		
	圓 角 分	圓 角 分	圓 角 分		
定 期 預					
仕入掛未著預り	0	0	0	0	
他港同清品預り	0	0	0	0	
同清免状未著預り	0	0	0	0	
輸入修復品預り	0	0	0	0	
何	0	0	0	0	
合 計	0	0	0	0	
一 時 預					
輸出税ノ分	0	0	0	0	
輸入税ノ分	0	0	0	0	
合 計	0	0	0	0	

第三號

明 治 何 年 度

預 り 税

明 細 書

廳 名

明治何年度税關雜收入調定額計算書面ノ通相違無之候也

主任官氏名印

會計検査院長宛

年 月 日







明治二十七年四月 逓 會計検査院第十四號

高		整年度		備考
計		〜越 高		
圓	銭	圓	銭	
0		0		
0		0		

第五號

明治何年度

假預無請求品公賣代明細書

應 名

三三三

明治二十七年四月 逓 會計検査院第十四號

摘要	調定超過額	
	前年度下 未済ノ分	本年度分
輸出税	0	0
輸入税	0	0
合計	0	0

明治何年度海關稅過誤納額明細書面ノ通  
相違無之候也

主任官氏名印

會計検査院長宛

年 月 日

三三三



明治二十七年四月 總會計検査院第十四號

代 賣 公 品 求										
拂 出 高										備 考
公賣諸費	庫租 組入高		輸入税		雜收 組入高		返戻高		計	
圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

三三三

明治二十七年四月 總會計検査院第十四號

預 假					
受 入 高			摘 要	拂 出	
前年度越	本年度分	計		本 納 組入高	返 戻 高
圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	
0	0	0	何々預り 何々	0	
0	0	0		0	
0	0	0	合計	0	

三三四



明治二十七年四月 達 會計検査院第十四號

第六號		明治何年度																																	
稅關雜收入額定超過額明細書		應 名																																	
下戻濟額	下戻未濟額	備考																																	
<table border="1"> <tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>元</td></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	千	百	十	元	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<table border="1"> <tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>元</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	千	百	十	元														
千	百	十	元																																
0	0	0	0																																
0	0	0	0																																
0	0	0	0																																
千	百	十	元																																

三三七

明治二十七年四月 達 會計検査院第十四號

請 無		摘要																																					
明治何年度假預無請求品公費代 明細書面ノ通相違無之候也		何年何月何日公費																																					
主任官長名印		"																																					
會計検査院長冠		"																																					
年 月 日		"																																					
		合計																																					
受 入 高																																							
前年度 越 高	本年度分	計																																					
<table border="1"> <tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>元</td></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	千	百	十	元	0	0	0	0	0	0	0	0	<table border="1"> <tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>元</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	千	百	十	元									<table border="1"> <tr><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>元</td></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>		千	百	十	元	0	0	0	0	0	0	0	0
千	百	十	元																																				
0	0	0	0																																				
0	0	0	0																																				
千	百	十	元																																				
千	百	十	元																																				
0	0	0	0																																				
0	0	0	0																																				
0	0	0																																					

三三三



摘要	調定超過額	
	前年度下 年度末	本年度分
	額	額
税關雜收入		
租	0	0
出入港級	0	0
雜收	0	0
合計	0	0

明治何年度税關雜收入過誤納額明細書面  
ノ通相違無之候也

主任官氏名印  
會計検査院長宛  
年 月 日

○會計検査院達第十五號  
海關稅及稅關雜收入收入證明規程

明治二十七年四月二十七日

會計検査院長子爵渡邊 昇

海關稅及稅關雜收入收入證明規程

- 第一條 會計規則第九十五條第九十七條ニ據リ收入官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ海關稅收入計算書稅關雜收入收入計算書及現金出納計算書ハ別記第一號乃至第四號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 一會計年度中收入官吏ノ交替アリシトキハ後任收入官吏ノ證明スヘキ收入計算書ニ於テハ尙ホ前任收入官吏ノ計算額ヲ併算スヘシ  
前任收入官吏ヨリ提出スヘキ收入計算書中調定濟額ハ當該歲入調定官ノ保證ヲ受ケテ之ヲ提出スヘシ
- 第三條 身元保證金ヲ納メタル分任收入官吏交替ノトキハ特ニ其收入計算書ヲ調製シ證明ヲ爲スコトヲ得但此場合ニ在テハ主任收入官吏ヲ經由スヘシ
- 第四條 毎年度歲入調定濟額ノ内收入未濟ニ係ルモノアルトキハ毎件其金額事由所屬年度及督促ノ顛末等ヲ詳記セル收入未濟額明細書ヲ調製シ收入計算書ニ添付スヘシ  
但事ノ複雜ナラサルモノハ計算書備考ニ記載シ明細書ヲ省略スルコトヲ得
- 第五條 左ノ事項ハ各其計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雜ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所由ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ
- 第六條 前年度ヨリ繰越ノ收入未濟額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其金額事由
- 第七條 缺損補填金ヲ受ケタルモノアルトキハ其金額事由
- 第八條 金庫ハ拂込未濟ノ金額アルトキハ其事由



第五條 現金出納證明上提出スヘキ證憑書類左ノ如シ

- 一 現金拂込ニ對スル金庫ノ領收證書
  - 二 預リ税金ノ返戻ニ對スル領收證書
  - 三 無請求品公賣諸費ニ對スル領收證書
  - 四 假預金及無請求品賣却代殘金返戻ニ對スル領收證書
- 第六條 證憑書類ノ編纂ハ各科目ニ區分シ其金員枚數ヲ表記スヘシ但枚數僅少ナルトキハ合冊ト爲スモ妨ケナシ
- 第七條 下検査官吏ハ計算書ノ下検査ヲ完了シ左ノ期限内ニ其應ヲ發シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

- 一 收入計算書ハ翌年度九月二十五日以内
- 二 現金出納計算書ハ翌年度六月二十五日以内

第八條 下検査書ハ計算書毎ニ區分調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 計算書若クハ證憑書類ノ件名册數
- 二 收入計算書ハ收入簿現金出納計算書ハ現金出納簿トノ符合及拂込未済現存額ヲ認メタル保證但當該下検査官吏ニテ事實執行シ難キ場合ニ於テハ他ノ監督ノ任アル官吏ノ保證書ヲ以テスルコトヲ得

第九條 事實ニ適合セスト認定セシ事項ノ金額事由

第十條 收入官吏ニ對スル審理書及之ニ對スル報告書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ

附 則

第十條 本規程ハ明治二十六年分ヨリ施行ス

(別記)

第一號	<p>明治何年度</p> <p>海 關 稅</p> <p>收 入 計 算 書</p>
備 考	<p>名 應</p>

一 凡例 收入官吏其他ノ事故ニ依リ一年度ヲ通セサルモノアリトキハ計算書ノ表紙及未文何年度ノ次ニ何月日ヨリ何月日ニ至ルト記入スヘシ

二 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ

三 計算書ハ改換塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横道シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

四 用紙ハ厚實沙引美濃紙ヲ用井左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明クヘシ



明治二十七年四月 遼 會計検査院第十五號

明治何年度海關稅收入計算書面ノ通相違無之 候也  主任官氏名印  會計検査院長宛  年 月 日		摘 要  海 關 稅 輸 出 稅 輸 入 稅 合 計
--	--	---

三四

明治二十七年四月 遼 會計検査院第十五號

調 定 額			收 入 濟 額			收入未済額
前年度收入 未済ノ分	本年度納入 告知ノ分	計	前年度收入 未済ノ分	本年度納入 告知ノ分	計	
圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0

三四



摘要	収 入 額						拂込済額
	前年度越前		本年度分		計		
	圓	銭	圓	銭	圓	銭	
海 關 稅							
輸 出 稅	0		0		0		0
輸 入 稅	0		0		0		0
合 計	0		0		0		0

拂込未済額	備 考	第 二 號	
		明 治 何 年 度	
		海 關 稅	
圓	銭	現 金 出 納 計 算 書	
0		廳 名	
0			
0			



明治二十七年四月 達 會計検査院第十五號

<p>明治何年度海關稅現金出納及預リ 稅受拂額書面ノ通相違無之候也</p> <p>收入官吏官氏名印</p> <p>會計検査院長宛</p> <p>年月日</p>	預	
	摘 要	受 入
		前年度越高 本年度分
預リ稅	0	0

三四七

明治二十七年四月 達 會計検査院第十五號

リ 稅 受 拂 額					
高	拂 出 高		翌 年 度	備 考	
計	本 稅 付 高	返 戻 高	へ 越 高		
0	0	0	0	○翌年度越高アルトキハ其現金所在ノ箇所ヲ備考ニ記載スヘシ	

三四六



摘要	調定濟額						收入濟額					
	前年度收入		本年度納入		計	前年度收入		本年度納入		計		
	圓	銭	圓	銭		圓	銭	圓	銭			
税關雜收入												
庫・租	0		0		0	0		0		0		
出入港銀	0		0		0	0		0		0		
雜收	0		0		0	0		0		0		
合計	0		0		0	0		0		0		

收入未濟額	備考
0	
0	
0	
0	
0	

明治何年度

税關雜收入

收入計算書

廳名



明治二十七年四月 逓 會計検査院第十五號

收 濟 額						拂込済額			拂込未済額			備 考
本年度分			計									
圓	錢	厘	圓	錢	厘	圓	錢	厘	圓	錢	厘	
0			0			0			0			
0			0			0			0			
0			0			0			0			
0			0			0			0			

三五

第四號

明治何年度

稅關雜收入

現金出納計算書

廳 名

明治何年度稅關雜收入計算書面

ノ通相違無之候也

主任官兵名印

會計検査院長宛

年 月 日

明治二十七年四月 逓 會計検査院第十五號

三五〇









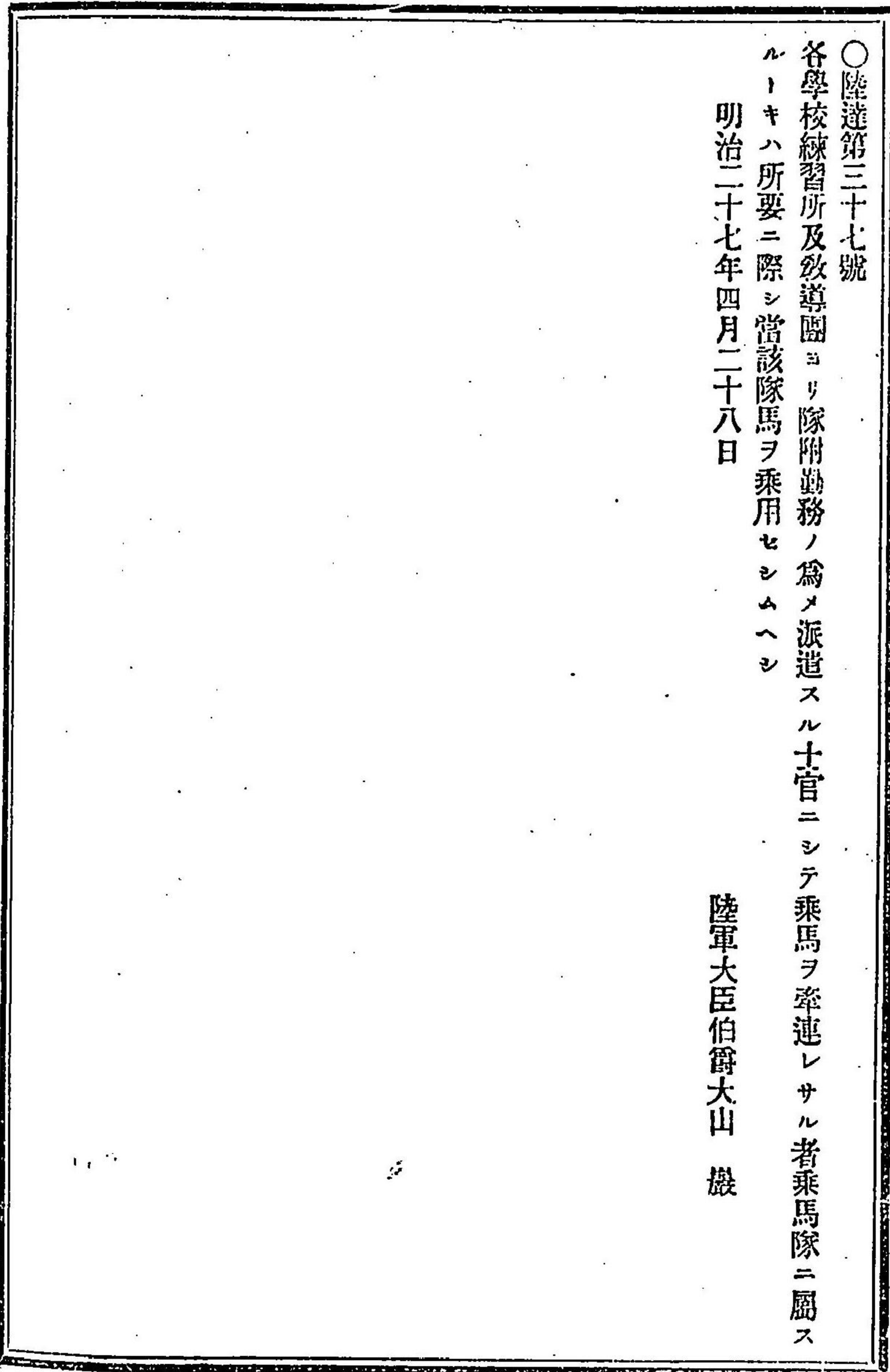


○陸軍第三十七號

各學校練習所及教導團ヨリ隊附勤務ノ爲メ派遣スル士官ニシテ乘馬ヲ牽連レサル者乘馬隊ニ屬スルノキハ所要ニ際シ當該隊馬ヲ乘用セシムヘシ

明治二十七年四月二十八日

陸軍大臣伯爵大山 巖



○海軍省達第六十八號

軍人恩給法ニ據リ恩給請求ニ要スル書式自今別紙ノ通心得ヘシ

明治二十七年五月一日

海軍大臣伯爵西郷從道

(別紙)

第一書式

服役停年ニ基テ退職及免除恩給請求書  
但ニ通差出スヘシ(以下孰レモニ通テ差出スヘシ)

(用紙美濃紙)

恩給請求書

某 儀

何年何月何日(被任何官)(何々被申付)爾來何箇年服役何年何月何日何々ニ依リ(預備)(後備)(退役)(免官)(免役)被申付候ニ就テハ軍人恩給法第何條ニ據リ恩給下賜度證據書類相添此段請求仕候也

元(軍艦何々)(某團何々)(休職)

何府何市區何町何番地(華族)(平民)

何縣何市區何町何番地(寄留)

職位勳爵 氏 名 〇

年月日

海軍大臣爵氏名殿

卒ハ茲所管長官ニ宛ツヘシ(以下之ニ同シ)

附屬スヘキ證據書類

履歷書 (第八書式)

第二書式

傷疾疾病ニ基テ退職及免除恩給請求書

(用紙美濃紙)

恩給請求書

明治二十七年五月 達 海軍省第六十八號



何年何月何日(被任何官)(何々被申付)爾來何箇年服役何年何月何日(傷疾)(疾病)ノ故ヲ以テ(退役)  
(免官)(免役)被申付候ニ就テハ軍人恩給法第何條ニ據リ恩給下賜度證據書類相添此段請求仕候也

用書第一書式ニ同シ

年月日

職位勳爵 氏

名

海軍大臣爵氏名殿

附屬スヘキ證據書類

履歷書

(第八書式)

現認證書 (第五書式若クハ公文ノ寫者クハ口供書)

負傷證書 (第六書式)

診斷證書 (第七書式)

第二書式 但公務ニ因ラサル傷痍疾病ニ係ルモノハ履歷書並診斷證書ノミ添付スヘシ  
傷痍疾病重症ニ據リ恩給ノ增加ヲ請  
求シ若クハ其恩給ヲ更ニ請求ノトキ  
(用紙美濃紙)

恩給請求書

某 儀

何年何月何日ヨリ(傷疾)(疾病)ノ故ヲ以テ(恩給及負傷增加恩給下賜)(現役ヲ離レ)候處爾來何々ニ依

リ送ニ重症ニ趨キ別紙診斷書ノ通ニ候間御検査ノ上軍人恩給法第何條ニ據リ恩給下賜度證據書類相添  
此段請求仕候也

年月日

用書第一書式ニ同シ

職位勳爵 氏

名

海軍大臣爵氏名殿

附屬スヘキ證據書類

病況書 原因經過療法ヲ詳記シタルモノ

診斷證書 (第七書式)

更ニ恩給ヲ請求スルモノハ 海軍軍醫官ノ診斷證書シ軍醫官ノ診斷ヲ受クルコト  
能ハサル場合ニ限リ地方醫師二名連署捺印シタルモノ

履歷書 (第八書式)

現認證書 (第五書式若クハ公文ノ寫者クハ口供書)

負傷證書 (第六書式)

病況書 (同右)

診斷證書 (同右)

第四書式

(用紙美濃紙)

給助金請求書

何年何月何日被任何官爾來何箇年勤続何年何月何日現役ヲ離レ候ニ就テハ軍人恩給法第何條ニ據リ給  
某 儀



助金下賜度証據書類相添此段請求仕候也

年月日

官位勳爵氏名

海軍大臣爵氏名殿

附屬スヘキ證據書類

履歴書 (第八書式)

遺族ヨリ請求ノトキ

給助金請求書

故官位勳爵氏名

右現役中何年何月何日死去仕候ニ就テハ軍人恩給法第何條ニ據リ給助金下賜度証據書類相添此段請求仕候也

肩書第一書式ニ同シ

年月日

故官位勳爵氏名遺族

氏名

海軍大臣爵氏名殿

附屬スヘキ證據書類

履歴書 (第八書式)

第五書式

備考 死者ニ對スル給助金ハ遺產相續人へ賜ハルヘキモノニ付嗣子又ハ月主ヨリ請求スヘシ (用紙美濃十三行罫紙)

現認證書

右者明治何年何月何日何時何分何所ニ於テ何ノ際何ノ爲ニ何ノ部ニ何ノ傷痕ヲ負ヒタルニ由リ診査スルニ由リ何物ノ爲メニ何部ニ何傷ヲ受クルヲ現認ス

年月日

所轄 職官氏名

罹病ニ係ル現認證書ノ書式ハ本證書ニ準ス

第六書式

備考 本證書ハ他メテ現況ヲ詳記スヘシ 又現認者一名ノ場合ニ在テハ一名ニテ之ヲ作ルヘシ

(用紙美濃十三行罫紙)

負傷證書

右者明治何年何月何日何時何分何所ニ於テ何ノ際何ノ爲ニ何ノ部ニ何ノ傷痕ヲ負ヒタルニ由リ診査スルニ由リ部ニ於テ大サ幾許(何部ヨリ何部ニ亙ル長サ幾許幅幾許)深サ幾許(何部ニ達スル)何創アリ創縁ハ銳利ニシテ(不正ニ埋斷シテ)創面ヨリ著シク出血シ(微ニ出血シ)創底ニ於テ何大ノ骨片折斷シテ移動スルヲ認ム(骨膜ハ僅ニ剝離スレトモ骨折ヲ認メス或ハ何器官ニ損傷ヲ認メス)因テ止血法ヲ施シ(何動脈ヲ結紮シ)骨片ヲ拔除シ創面ヲ洗滌シ創縁ヲ縫接シテ防腐繃帶ヲ施ス

所轄 職官氏名年齢



右證明ス  
 明治年月日  
 職官(軍醫官)氏名  
 極病證書ノ書式ハ本證書ニ準ス  
 (用紙美濃十三行罫紙)

第七書式  
 診斷證書  
 所轄官職氏名年齢

右者明治何年何月何日何所ニ於テ何ノ際何ノ爲ニ何ノ部ニ何ノ傷損ヲ負ヒ何年何月何日ヨリ治療(何病院ニ入院治療)ノ處何年何月何日何ノ手術ヲ行ヒ何年何月何日傷損治癒スト雖モ何ノ部位ヲ失ヒ(何部ノ知覺若クハ運動麻痺ヲ貽シ何ノ機能缺如シ若クハ幾許碍ケラレ或ハ周圍ノ瘳痕若クハ關節面ノ瘳著者)ハ何ニ由リ何關節ニ強直若クハ變縮ヲ貽シ全ク伸縮機能ヲ缺キ若クハ伸展及屈曲ノ角度幾許ニ過キス或ハ視力全ク缺如シ若クハ幾許ノ視力ヲ失ヒ或ハ聽覺缺如シ若クハ幾許ノ聽覺ヲ失ヒ)永久服服(或ハ現役)ニ堪ヘ難キ者ト診斷ス  
 明治年月日  
 職官(軍醫官)氏名  
 臨監 鎮守府軍醫長 官氏名  
 疾病ニ係ル診斷證書ノ書式ハ本證書ニ準ス  
 備考 入院患者ニ在リテハ病院長之ヲ作ルモノトス  
 (用紙美濃紙)

第八書式  
 履歷明細書  
 何府何市區何町何番地(平民)

明治何年	何月何日	海軍何等兵(夫申付(任何官)任官ノ文官ニ係ルモノハ其任命シタ)何々ノ科海軍刑法第何條ニ依リ輕禁錮何日	何府何市區何町何番地(平民)
同	同	任海軍三等兵曹	職官氏名
同	同	某國(國外) (航海) (醫備) (職務ヲ帯ヒテ航海シタ) (ル時ハ其事由ヲ附記スヘシ)	何年何月何日生
同	同	某地從軍 但軍能何乘組 又ハ何隊	
同	同	某地(歸著)	
同	同	任海軍上等兵曹	
同	同	任海軍少尉	
同	同	敘正八位	
同	同	任海軍大尉	
同	同	敘高等官何等	
同	同	敘勳何等賜何々章	
同	同	何々ニ依リ(豫備)(後備)(退役)(免官)(免役)	

右之証相違無之候也  
 年月日  
 職官 位勳爵 氏名

○陸達第三十八號  
 明治二十六年陸達第百三十三號陸軍省所管出納官吏身元保證金取扱順序第二條へ左ノ一項ヲ追加  
 明治二十七年五月 陸軍省陸達第三十八號



明治二十七年五月三日 陸軍大臣伯爵大山 巖  
前二項ノ場合ニ於テ陸軍大臣ニ報告スルト同時ニ第一號書式ニ準シ當該仕拂命令官若クハ蔵入監督官ニ通報スヘシ

〔参照〕

- 陸軍省第三十三號陸軍省所管出納官吏身元保證金取扱順序(明治二十六年十二月二十六日抄録)
- 第二條 出納官吏ノ所屬長官ハ前條ノ標準ニ據リ身元保證金額ヲ當該官吏ニ達シ同時ニ第一號書式ニ據リ左ノ事項ヲ順序ヲ經テ陸軍大臣ニ報告スヘシ
  - 一 部局 隊號及所在地名
  - 二 受取金額並ニ其科目(款)又ハ保管物品價額
  - 三 身元保證金額
  - 四 當該出納官吏ノ職官氏名並ニ其就職年月日
- 當該出納官吏交替ノ場合ニ於テハ前職者ノ職官氏名並ニ解職ノ年月日及事務引継年月日ヲ併セテ報告スヘシ

○陸軍第三十九號

明治二十四年陸軍第百一十一號本省及參謀本部監軍部各官衙諸學校會立關番以下定員表中(名稱)ノ畫内庫手ノ次ニ「驗潮儀監守」ノ字及ヒ其横畫「陸地測量部」ノ下ニ「驗潮儀監守一〇」ノ七字ヲ加ヘ計ノ「一四」ニ改ム

明治二十七年五月七日 陸軍大臣伯爵大山 巖

○陸軍第四十號

明治二十二年陸軍第二百十九號備員以下給料支給規則備給表中「秣手」ノ次ニ左ノ一畫ヲ加フ  
明治二十七年五月七日 陸軍大臣伯爵大山 巖

陸軍省陸軍第三十九號

陸軍大臣伯爵西鄉從道

○海軍省陸軍第六十九號

海軍兵器造修供給規則左ノ通定ム  
明治二十七年五月七日

海軍大臣伯爵西鄉從道

第一章 製造改造修理

- 第一條 兵器ノ製造若クハ改造ヲ要スルトキハ造兵廠ニ於テ之ヲ取扱ハシム其注文手續ハ軍務局長ノ注文票(第一號)ヲ製シ造兵廠ニ送致スルモノトス但兵器ノ据附モ亦本條ニ準スルコトアルヘシ
- 第二條 造兵廠ニ於テ注文票ヲ受ケタルトキハ之ニ入費概算及豫定落成期限ヲ記入シ工事又ハ購買ノ手續ニ著手スヘシ又現品落成若クハ購入シタルトキハ其實費並ニ重量等ヲ記入シ其甲號ハ軍務局長ニ返附シ乙號ハ之ヲ保存スヘシ
- 第三條 兵器ノ据附及修理ハ成ルヘク鎮守府ニ於テ之ヲ爲シ其爲シ能ハサルモノニ限り造兵廠ニ於テ之ヲ爲スヘシ又東京所在各廳ニ係ルモノハ造兵廠ニ於テ之ヲ爲スヘシ但修理ニ當リ一部分ノ新製ヲ要スルトキハ都テ修理トシ取扱フモノトス
- 鎮守府司令長官ハ便宜ニ依リ部下艦船備附兵器ノ据附及修理ヲ他ノ鎮守府司令長官ニ依リ托スルコトヲ得
- 第四條 艦團隊艦長供用兵器ノ据附及修理等(新規据付、据付位置變更、修理ヲ要スルトキハ其品名數量及詳細ノ事由ヲ具シ所屬長官ニ申出ツヘシ但艦船他鎮守府管内ノ艦隊ノ艦長ハ司令長官ニ在ルトキハ附近鎮守府司令長官ニ申出又品海碇泊中ハ修理ニ限リ造兵廠長ニ請求スルコトヲ得此但書ノ場合ニ於テハ之ヲ其本管鎮守府司令長官ニ在テハ各其所屬艦ニ報告スヘシ)
- 第五條 艦隊司令長官各學校長又ハ各廳長ニ於テ供用兵器ノ据附及修理等ヲ必要ト認メ又ハ其具



申ヲ受ケ之ヲ至當ト認メタルトキハ艦隊ニ在テハ其艦船所管鎮守府司令長官ニ兵學校及附屬艦船ニ在テハ其艦隊司令長官ニ機關學校及附屬艦船ニ在テハ其艦隊司令長官ニ東京所在各廳ニ在テハ造兵廠長ニ要求スヘシ

第六條 兵備品會計官吏貯藏兵器ノ修理ヲ要スルトキハ品名數量及事由ヲ詳記セル調書ヲ製シ出納命令官ノ認印ヲ受クヘシ但鎮守府ニ在テハ尙司令長官ニ具申スルモノトス

第七條 兵器ノ据付及修理ニシテ鎮守府ニ於テ爲シ能ハサルモノアルトキ鎮守府司令長官ハ兵器工場主管ヲシテ造兵廠長ニ之ヲ要求スルヲ爲サシムヘシ

第八條 鎮守府司令長官又ハ造兵廠長兵器ノ据附及修理等ヲ必要ト認メ又ハ其具申要求ヲ受ケ之ヲ至當ト認メタルトキハ豫算定額内ニ於テ其緩急ヲ量リ新規据附或ハ修理ニ係ルモノハ直チニ工事ニ著手シ据付位置變更及改造ニ係ルモノハ其理由書ニ主務廳長(造兵廠長)ノ意見書工事方按圖面ヲ要スルモ工事日子及一廉毎ノ入費概算書ヲ添ヘ海軍大臣ニ具申シ認可ヲ受クヘシ但在役艦艇裝備兵器ノ修理或ハ据付ニシテ其工事一週日以上ニ渉ルモノニ著手シタルトキハ著手ト同時ニ竣工豫定期日ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

第九條 鎮守府及造兵廠ニ於テハ毎月五日マテニ其前月中ニ要求ヲ受ケタル修理兵器ノ品名數量ヲ調査シ修理兵器報告(式ヲ用フ)ヲ軍務局ニ送付スヘシ

第二章 供給運搬  
第十條 艦隊校艦供用兵器ノ定數ハ兵器簿ヲ以テ之ヲ定メ該簿ニ據リ兵器ノ供給ヲ爲スモノトス但兵器簿制定前ハ豫定兵器簿ニ依リ供給スルコトヲ得

兵器簿ハ之ヲ制定スル前軍務局長ヲシテ豫定セシメ各其所轄長ニ移シ實際ノ適否ヲ精査セシム所轄長ハ精査ノ上意見ヲ附箋シ軍務局長ニ返付ス同局長ハ之ヲ調査シ制定ノ手續ヲ爲スモノトス但新造艦船ニ係ルモノハ艦船造修試験検査規則ニ依リ取計フヘシ

第十一條 兵器ノ供給ハ艦隊及各廳ニ在テハ其本管鎮守府、東京所在各廳ニ在テハ造兵廠、兵學校及附屬艦船ニ在テハ兵備品會計官吏貯藏兵器ノ機關學校及附屬艦船ニ在テハ橫須賀鎮守府貯藏ノモノヲ以テス但艦船他鎮守府管内ニ在ルトキハ附近鎮守府貯藏ノモノヲ以テ供給スルコトヲ得

第十二條 艦船外國航海中或ハ鎮守府遠隔ノ地ニ在ルトキハ甲艦ノ消耗兵器ヲ以テ乙艦ノ缺ヲ補フコトヲ得此場合ニ於テハ各其本管鎮守府ニ報告スヘシ

第十三條 軍樂器ハ横須賀鎮守府ノ管理トシ各軍樂員ニ要スルモノハ各自ニ之ヲ携帶セシムヘシ但左ニ掲クル附屬品ニ限リ尙ホ之ヲ他ノ鎮守府ニ借置キ管理セシム

- 指揮杖 諸掃除箭 諸回螺器 舌類 鈎類 針類 發條類 眞鍮樂器類ノ押
  - 金 「ベス」掛革 太鼓換皮 太鼓掛革 太鼓雨覆 太鼓日覆 太鼓撥 大太
  - 鼓線 大太鼓締綱 大太鼓締革 大太鼓胸當革 小太鼓膝當革 小
  - 太鼓響線 樂譜臺 樂譜臺袋 樂譜臺用硝子ホヤ 硝子ホヤ格納筐 譜冊入胴亂
  - 行進用譜入胴亂 譜挾 譜建 軍樂器喪章
- 第十四條 兵器ノ運搬ハ鎮守府武庫水雷庫及造兵廠ノ負擔トス
- 第三章 試験検査
- 第十五條 鎮守府貯藏兵器ノ試験検査ハ武庫主管及水雷庫主管之ヲ施行スヘシ其施行シ難キモノハ造兵廠又ハ兵器工場ニ請求スルモノトス
- 第十六條 艦隊校艦ニ於テ供用兵器ノ試験検査ヲ要スルトキハ造兵廠又ハ鎮守府兵器工場ニ請求スヘシ但造兵廠又ハ兵器工場ニ於テ施行シ難キモノハ武庫水雷庫ニ請求スルモノトス
- 第十七條 大砲ハ左ニ定ムル彈數ヲ發射シタル後チハ臍中検査ヲ行フヘシ又砲ニ損傷ヲ生シ或ハ樞要部ノ疵瑕ニシテ漸次増大ノ虞アルトキハ發射數ニ關セテ臨時検査ヲ行フヘシ
- 一二十四海砲以上 五十發



一 二十一 姆砲以下八十年式十五姆砲及十五姆速射砲

百發

一 八十年前式十五姆砲以下四十斤砲及十二姆速射砲

百五十發

一 四十七密米輕速射砲及八姆砲以下

二百發

第十八條 大砲中檢査ヲ行フトキハ砲身砲架其他附屬品等樞要部ヲ併セ點檢スヘシ又其檢査成績ハ其都度海軍大臣ニ報告スヘシ

第十九條 供用兵器中裝藥火工品ノ類ハ毎年一回時機ヲ見計ヒ試驗ヲ受クヘシ但在庫品モ亦本條ニ準ス

第四章 陸揚搭載

第二十條 鎮守府司令長官艦隊司令長官所屬艦船ニ於テ供用兵器ヲ修理若クハ試驗檢査等ノ爲メ一時陸揚セントスルトキ大砲又ハ水雷等ノ如キ本艦ノ勢力ニ關スルモノハ海軍大臣ノ認可ヲ受ケ其他ハ適宜處分スヘシ又認可ヲ經テ陸揚シタル兵器ヲ再ヒ搭載シタルトキハ直ニ其旨ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ但艦船修理中ニ在テハ適宜之ヲ處分シ本艦ノ勢力ニ關スルモノニ限リ入渠ノ場合ヲ除クノ外其陸揚及搭載ノ都度海軍大臣ニ報告スルモノトス

艦隊所屬ノ艦船ニ於テハ前項ノ手續ヲ爲ス前豫メ鎮守府又ハ造兵廠ニ協議スルモノトス

(第一號紙第二號書式略ス)

○海軍省達第七十號

海軍兵器出納規程中左ノ通改正ス

明治二十七年五月七日

海軍大臣 伯喬西鄉從道

第三條 新製或ハ購入ノ兵器ニシテ造兵廠ニ於テ取扱ヒタルモノハ一時同廠ニ保管シ兵器造修

供給規則ニ依リ交附シ又ハ軍務局ノ通牒ニ依リ各所ニ支出スルモノトス其造兵廠ニ於テ取扱ヲ爲サ、ルモノハ軍務局ノ通牒ニ依リ各所ニ於テ記帳整理ヲ爲スヘシ

第四條 中兵器ヲ要スルノ下ニカ若クハ定數ヲ變更セントスルノ十四字ヲ加フ

第五條 中試發射等ヲ諸演習公試發射若クハ供用兵器試驗用等ニ改メ兵器ヲ支出ノ下ニシ及武庫水雷庫貯藏兵器ノ保管ヲ相互轉換ノ十九字ヲ加フ

第六條 第八條及第九條ヲ左ノ通改正ス

第六條 兵備品出納命令官ハ配賦又ハ保管轉換ノ兵器並艦隊校應備附定數内若クハ海軍大臣ノ認可シタル兵器及在庫兵器ヲ試驗スル等ノ場合ニ於テ要スル兵器ノ出納命令ヲ發スヘシ其他ハ海軍大臣又ハ鎮守府司令長官ノ命令アルニアラサレハ之ヲ發スルコトヲ得ス但造兵廠ニ於テ造修兵器ノ試驗ニ要スル兵器ノ支出ハ軍務局長ノ承認ヲ受クヘシ

第八條 兵備品會計官吏ハ兵器出納原簿(第一號紙)ヲ備ヘ兵器ノ出納ヲ登記スヘシ又特用兵器ヲ區分シ供用代價仕譯書ヲ調製スル爲メ補助簿(第十七號紙)ヲ製スヘシ但兵器中會計代價ノミ分明ノモノニシテ各別ニ之カ代價ノ算出ヲ要シ若クハ代價不分明ノモノハ會計官吏其評價ヲ爲シ出納命令官ノ承認ヲ受クヘシ

第九條 艦隊校應ニ於テ定數内若クハ海軍大臣ノ認可シタル兵器ヲ要スルトキハ兵器要求票(第二號紙)ニ品名數量等必要ノ事項ヲ記シ艦隊校應長及主管者捺印シ兵器造修供給規則ニ依リ請求スヘシ但第五條及第六條但書ノ兵器ヲ要求スルトキハ各其手續ヲ經テ本條ノ請求ヲナスヘシ

第十條 末文ニ左ノ通加フ

又兵器ノ配賦若クハ保管ノ轉換ヲ受ケタルトキハ兵器送附票ニ捺印シ庫納ノ命令トシ之ヲ會計官吏ニ附スヘシ



第十一條 第一項末文ニ左ノ通加フ  
又配賦若クハ保管ノ轉換ニ對スル兵器送附票ヲ下附セラレタルトキハ現品ノ數量ヲ調査シ領收ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條 左ノ一項ヲ加フ  
艦隊校等ニ於テ消耗兵器ヨリ生シタル藥莖及電氣火管體ノ類ニシテ將來使用ノ見込アルモノハ第一項ノ手續ニ依リ還納スヘシ兵備品出納命令官及會計官吏ハ前項ニ依リ庫納ノ手續ヲ爲シ消耗兵器ヨリ生シタルモノトシテ兵器出納原簿ニ受込ムモノトス

第十三條 第一項中「木管鎮守府」ノ下ニ「軍樂器及附屬品ノ消耗」ノ割註及「吳鎮守府」ノ下ニ「機關學校」ハ横須賀鎮守府ニ「十二」字ヲ加フ

第十四條 第一項中「兵器造修規則」ヲ「兵器造修供給規則」ニ改メ第二項中「兵器ヲ修理シ又ハ在庫兵器ヲ」在庫兵器ヲ修理又ハニ割註第二十號對紙ヲ第十七號對紙ニ改ム

第十七條 中在庫ノ下ニ「若クハ供用」ノ五字ヲ加フ  
第十八條 左ノ但書ヲ加フ  
但試驗ノ爲メ支出シタル兵器ノ殘餘ヲ納庫スルトキモ本文ニ依ル

第二十一條 中「兵器補充規則」第二條ヲ「兵器造修供給規則」第十一條但書ニ「兵器要求票ヲ」兵器領收證ニ「同則」第三條ヲ「同則」第十二條ニ改メ左ノ一項ヲ加フ  
吳佐世保兩鎮守府ニ於テ貯藏ノ軍樂器附屬品ヲ軍樂員ニ補充渡フ爲シタルトキハ前項前段ニ準シ横須賀鎮守府ニ保管ノ轉換ヲ爲スヘシ

第二十五條 中割註「東京所在ノ官廳並兵學校」ノ下ニ「機關學校」ノ四字ヲ加フ  
第二十六條 中「東京所在ノ官廳及兵學校」ノ下ニ「機關學校」ノ四字及「吳鎮守府司令長官」ノ下ニ「機關學校」ニ在テハ横須賀鎮守府司令長官ニ「十九」字ヲ加フ

〔別紙略ス〕

〔參照〕

海軍省第七十二號海軍兵器出納規程(明治二十六年六月二十二日)抄録  
第三條 造兵廠ニ於テ新製シ或ハ購入シタル兵器ハ一時同廠ニ保管シ兵器補充規則ニ依リ交付シ又ハ軍務局ノ通牒ニ依リ各所ニ支出スルモノトス  
第四條 艦隊校等ニ於テ定數外ノ兵器ヲ要スルトキハ所管長官ヲ經由シテ海軍大臣ノ認可ヲ受ケヘシ  
第五條 鎮守府司令長官ハ戰時亦復又ハ急遽ノ場合ニ際シ海軍大臣ノ認可ヲ待ツ能ハサルトキハ定數外ノ兵器ヲ供給シテ後之ヲ海軍大臣ニ報告スルコトヲ得但公試發射等ノ如キ制規ニ從ヒタル用途ニ對シ兵器ヲ支出スルハ鎮守府司令長官限リ處辨スヘシ  
第六條 兵備品出納命令官ハ艦隊校總備附定數内若クハ海軍大臣ノ認可シタル兵器及在庫兵器ヲ試驗スル等ノ場合ニ於テ要スル兵器ノ出納命令ヲ發スヘシ但定數外兵器ノ出納命令ハ海軍大臣又ハ司令長官ノ命令アルニ非サレハ發スルコトヲ得ス  
第八條 兵備品會計官吏ハ兵器出納原簿(第一號)ヲ備ヘ兵器ノ出納ヲ登記スヘシ但特用兵器ヲ區分シ又供用代價仕簿ヲ附製スル爲ニ第十八號及第十九號對紙ヲ用ヒ補助簿ヲ製スヘシ  
第九條 艦隊校等ニ於テ定數内ノ兵器ヲ要スルトキハ兵器要求票(第二號)ニ品名數量等必要ノ事項ヲ記シ艦隊校總長及主管者捺印シ兵器補充規則ニ依リ請求スヘシ但海軍大臣ノ認可シタル兵器ヲ要求スルモ亦同シ  
第十條 兵備品出納命令官ニ於テ兵器要求票ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ請求ニ應スヘキモノト思惟スルトキハ要求票ニ捺印シテ支出ノ命令トシ之ヲ會計官吏ニ附シ軍務局ノ通牒ニ依リ支出スルモノハ通牒書ニ捺印シテ會計官吏ニ附スヘシ



第十一條 兵備品會計官吏要乘票或ハ通牒書ヲ下附セラレタルトキハ兵器送附票(紙三用)及兵器領收證(紙四用)ヲ製シ現品ト共ニ發送スヘシ  
前項ノ兵器送附票ハ受領者之ヲ保存シ兵器領收證ハ受領者若クハ主管者ヲシテ捺印セシメ會計官吏之ヲ保存シテ送附ノ證トス

第十二條 艦隊校總ニ於テテ不用或ハ引換ノ爲メ兵器ヲ選納スルトキハ供用兵器選納票(紙五用)ニ品名數量及選納ノ事由ヲ記シ艦隊校總長及主管者捺印シ現品ト共ニ領守府若クハ遣兵廠ニ送附スヘシ(海軍省令第一〇三號)兵器選納ノ事命令官ハ之ヲ調査シ選納ヲ受ケキモノト思惟スルトキハ選納票ニ捺印シテ庫納ノ命令トシ會計官吏ニ附ス  
會計官吏前項ノ選納票ヲ下附セラレタルトキハ現品ヲ調査シテ之ヲ受領シ第五號紙丙號領收證ニ捺印シテ選納元ニ返付シ根簿ノ整理ヲ爲スヘシ

第十三條 艦隊校總ニ於テ兵器ヲ消耗シタルトキハ消耗兵器報告書(紙六用)正副二通ヲ製シ毎月五日マテニ其前月分ヲ本管領守府ニ報告スヘシ但シ東京所在ノ各艦ハ遣兵廠ニ兵學校ハ兵學校ハ兵學校ニ差出スモノトス  
領守府又ハ遣兵廠ニ於テ前項ノ報告書ヲ受領シタルトキハ之ニ代價ヲ記入シ根簿ノ整理ヲ爲シ該報告書ハ毎月末日マテニ軍務局ニ送付スヘシ

第十四條 艦船其他ヨリ不用若クハ引換選納ノ兵器ハ兵器出納原簿ニ登記シ其品類ニ分チ其品類ハ直ニ庫納シ廢品ノ内條ニ依リ見込ノモノハ會計官吏ニ於テ出納命令官ノ承認ヲ受ケ兵器修理規則ニ依リ修理ヲ加ヘ其他ハ第十五條及第十六條ニ依リ處分スルモノトス  
領守府若クハ遣兵廠ニ於テ兵器ヲ修理シ又ハ在庫兵器ヲ検査スルニ當リテハ補助簿(紙二十用)ヲ製シ其出納ヲ明ニスヘシ

第十七條 在庫兵器ニシテ正當ノ理由ニ依リ減損セシトキ會計官吏ハ第七號書式ノ兵器離權票ニ品名數量代價等ヲ記入シ出納命令官ノ認印ヲ受ケ根簿ノ整理ヲ爲スヘシ

第十八條 兵備品會計官吏ハ在庫中ノ兵器ニシテ之ヲ試驗ヲ要スル爲メ支出スルカ又ハ一部分廢品トナリタルモノヲ交換スルカ或ハ品位及品種類換ノ場合ニ於テハ第八號書式ニ依リ出納命令官ノ認印ヲ受ケ記帳整理ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十一條 兵器補充規則第二條ニ依リ他領守府所管ノ艦船兵器ヲ補充シタルトキハ第十一條ニ準シ兵器送附票及兵器領收證ヲ製シ該艦船ヨリ差出シタル兵器要乘票ト共ニ本管領守府ニ送付スヘシ又同則第三條ノ補充ニシテ甲乙其所管ノ異ニスルトキハ甲艦所屬領守府ニ於テ前記ノ手續ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ兩領守府保管ノ轉換ヲ爲シタルモノトシ根簿ノ整理ヲ爲スモノトス

第二十五條 艦隊校總長(海軍省令第一〇三號)ニ於テ供用兵器(紙七用)ヲ亡失シタルトキハ艦隊校總長ハ其品名數量及

事由ヲ詳記シ本管領守府司令官ニ届出ツヘシ司令官ハ之ヲ兵器出納命令官ニ命シ調査セシメ大臣ニ進達スヘシ此場合ニ於テハ總テ前條第二項ノ例ニ依ルヘシ

第二十六條 東京所在ノ官廳及兵學校ニ於テ供用兵器(紙八用)ヲ亡失シタルトキハ各隊長ヨリ其品名數量及事由ヲ詳記シ大臣ニ届出ツルト同時ニ東京所在ノ官廳ニ在テハ遣兵廠長ニ兵學校ニ在テハ兵學校長ヨリ詳細報告スヘシ此場合ニ於テモ仍ホ會計官吏ハ第二十四條第二項ノ手續ヲナスヘシ

第二十八條 兵備品出納命令官ハ毎月五日ヲ限リ前月分ノ兵器出納ヲ調査シ第十四號乃至第十七號書式ニ依リ左ノ報告ヲ軍務局ニ出スヘシ

- 一 消耗兵器報告
- 一 選納兵器報告
- 一 在庫兵器處分報告
- 一 修理兵器報告

○海軍省達第七十一號

明治二十二年六月達第九十二號兵器造修規則同年八月達第三百十二號同二十三年三月達第六號大砲  
膛中検査規程同年十月達第三百三十號兵器補充規則同二十四年二月達第二十三號同二十六年一月達第五  
號軍樂器取扱手續及同年九月達第九十一號ヲ廢ス  
明治二十七年五月七日

海軍大臣 伯耆西郷從道

〔參照〕

明治二十二年八月十達第三百十二號兵器交換増減等ノ取扱方二十四年二月二達第二十三號兵器運搬手續ノ件ニ  
十六年九月達第九十一號ハ消耗兵器ヨリ生シタル藥打殼等ノ類ニシテ使用ノ見込アルモノノ選納並ニ取扱方ナリ

○陸達第四十一號

輜重兵野戰綱制式別紙圖面ノ通定ム (別紙略ス)  
明治二十七年五月十日

陸軍大臣 伯耆大山 巖

○海軍省達第七十二號

明治二十七年五月 達 海軍省第七十一號 第七十二號 陸軍省陸達第四十一號  
三七三



糧食經理規程第一表中(丙)及在監人糧食品日當內譯表(丙)ヲ左ノ通改正シ第一表備考第十項ヲ削除ス

明治二十七年五月十二日

海軍大臣伯爵西郷從道

在監人糧食品日當內譯表 (丙)

週	在 監 人 糧 食 品						
	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
水曜日	木曜日	金曜日	火曜日	水曜日	月曜日	日曜日	土曜日
土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計
附味品調理用	附味品調理用	附味品調理用	附味品調理用	附味品調理用	附味品調理用	附味品調理用	附味品調理用
週意	週意	週意	週意	週意	週意	週意	週意
食	食	食	食	食	食	食	食
合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目
白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米	白米
野米	野米	野米	野米	野米	野米	野米	野米
菜	菜	菜	菜	菜	菜	菜	菜
100	100	100	100	100	100	100	100
朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
60	60	60	60	60	60	60	60
40	40	40	40	40	40	40	40

○海軍省達第七十三號  
定期高速力試驗規則第十四條ニ左ノ但書ヲ追加ス

明治二十七年五月十五日

海軍大臣伯爵西郷從道

但本條ノ場合ニ於テハ本規則第一條ノ二十四時間ヲ六時間トシ第八條ノ半時ヲ一時トシ第九條ノ八時間ヲ二時間トス

〔參照〕

海軍省達第七號定期高速力試驗規則(明治二十六年十月二十五日)抄錄

第一條 高速力試驗ハ在役艦船ノ機關效力ヲ確認シ且機關部員ヲ熟練セシメンカ爲メ毎年四回航海中ニ於テ二十四時間試驗ヲ執行スルモノトス但シ試驗ハ可成毎三箇月ニ執行ス可シ

第八條 強壓通風裝置アルモノハ其裝置試驗ノ爲メ一時間以内半時以下ノ通風ヲ以テ執行スルモノトス

第九條 試驗中八時間毎ニ「インダクター」ヲ採取シ三組ヲ調製シテ試驗成績表ニ貼附シ報告ス可シ

第十四條 本規則ハ水雷艇ニ適用ス

○會計検査院達第十六號

官設鐵道用品資金會計歲入確定額證明規程左ノ通定ム

明治二十七年五月十五日

會計検査院長子爵渡邊昇



官設鐵道用品資金會計歲入確定額證明規程

- 第一條 官設鐵道用品資金會計規則ニ據リ當該官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ歲入確定額計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 左ノ事項ハ歲入確定額計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雜ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所由ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ
- 一 豫算各目ノ金額ニ比シ確定額ニ増減アリシトキハ共事由
- 二 過誤納ニ係ルモノニシテ其下戻ヲ了シタルモノ又ハ下戻ヲ要スヘキモノアルトキハ各其金額事由
- 第三條 歲入確定額證明上證據書類トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ
- 一 物品ノ賣却ニ關シテハ經費ノ各科目ニ對スル賣拂代價仕譯書但原價(購入原價ニ製作費修理費)及損減歩合ノ記載ヲ要ス
- 二 不用物品ノ賣却ニ關シテハ各種ノ契約書又ハ決議書
- 第四條 證據書類ハ原本ニ限ル若シ其原本ヲ提出シ難キ場合ニ於テハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスヘシ
- 第五條 會計規則第八十條第八十一條ニ基キ競争契約ヲ爲セシモノアルトキハ左ノ書類ヲ添付スヘシ
- 一 物件賣却ノ理由書
- 二 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但再入札ノ場合ニ於テハ前公告書共
- 三 豫定價格調書
- 四 落札以下三番札マテ但再入札ノ場合ニ於テハ前入札最高ノ分共
- 第六條 證據書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其金員枚數ヲ表記スヘシ但特ニ各目ヲ合セテ簿冊ヲ爲セ

シモノハ區分ヲ要セス

附 則

第七條 本規程ハ明治二十七年五月ヨリ施行ス

(別記)

- 凡 例
- 一 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
- 二 計算書ノ用紙ハ厚質筆沙引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明クヘシ
- 三 計算書ハ改竄捺捺ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

明治何年度何*(款)	
歲入確定額計算書	
名	處



明治何年度何々(款)歳入確定額計算書面之 通相違無之候也  主任官氏名印 會計検査院長宛 年 月 日		摘 要 何々(項) 何々(目) 何々 合計		豫 算 額 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	
---	--	-----------------------------------	--	----------------------------------	--

確 定 額	豫算額ニ比シ確定額ノ増減						備 考
	増			減			
〇 〇 〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
〇 〇 〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
〇 〇 〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	



○會計検査院第十七號  
官設鐵道用品資金會計支出證明規程左ノ通定ム

明治二十七年五月十五日

會計検査院長子爵渡邊昇

官設鐵道用品資金會計支出證明規程

第一章 計算書

第一條 官設鐵道用品資金會計規則ニ據リ當該官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ支出計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 年度末支出計算書提出ノ期ニ際シ若シ領收證書未到達其他過誤拂等ノ處分未済ニ係ルモノアルトキハ別ニ其理由及完結期限ヲ記載セル書面ヲ添付スヘシ

前項各事項ハ其完結ニ隨ヒ特ニ其報告書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ提出スヘシ

第三條 左ニ掲ケル書類ハ年度末支出計算書ニ添付スヘシ

- 一 總受拂勘定表
  - 二 當該年度末日計算表
  - 三 資本額ニ増減ヲ生シタルトキハ其金額事由ヲ記載セル明細書
  - 四 貯藏物品中自然ノ腐朽又ハ毀損變質減量等ニ依リ其價格ヲ減シ年度末ニ於テ價格ヲ改定シタルモノアルトキハ每件其事由ヲ確認シ得ヘキ明細書
- 第四條 左ノ事項中一項二項ハ年度末支出計算書ニ三項乃至六項ハ毎月支出計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雜ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所由ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ
- 一 豫算各目ノ金額及事項ニ増減異動ヲ生シタルトキハ其事由
  - 二 支出未済額ノ翌年度ニ繰越タルモノアルトキハ每件其金額事由
  - 三 誤拂過渡其他ノ返納ニ依リ歳入ニ編入シ又ハ編入スヘキモノアルトキハ其金額事由

- 四 前年度ヨリ繰越タル支出未済額ヲ支出セシモノアルトキハ其金額事由
  - 五 過年度ニ屬スル經費ヲ支出セシモノアルトキハ其所屬年度及金額事由
  - 六 益金ニシテ一般歳入ヘ納付セシモノアルトキハ其金額事由
- 右ノ外法律命令及計算ノ基ク所ヲ示サ、レハ明瞭ナラサルモノ其他特殊ノ事項ハ各其金額事由ヲ掲載スヘシ

第二章 證書類

第五條 支出證明上證書類トシテ提出スヘキモノハ正當受取人ノ領收證書物件ノ購買ニ關スル各種契約書其他事實ノ確實ヲ證スル書類トス

第六條 證書類ハ原本ニ限ル若シ其原本ヲ提出シ難キ場合ニ於テハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスヘシ

第七條 會計規則第八十條第八十一條ニ基キ取結ヒタル金額五百圓以上ノ物件購買ニ關スル競争契約書ニハ左ノ書面ヲ添付スヘシ

- 一 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但再入札ノ場合ニ於テハ前公告書共
- 二 落札者其物品供給ニ二年以來從事セル證明書
- 三 豫定價格調書
- 四 落札以下三番札迄但再入札ノ場合ニ於テハ前入札最低ノ分共

第八條 金額五百圓以上ノ物件購買ニ係ル隨意契約書ニハ其競争契約ニ依ラサリシ理由ノ説明書ヲ添付スヘシ

第九條 物品ノ既納部分ニ對シ完済前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂タルトキハ其領收證書ニ會計規則第六十七條第二項ニ據リ検査官吏ノ作リタル調書ヲ添付スヘシ

第十條 物件購買ニ關スル證書ニハ每品ノ種類箇數斤量及單價ヲ掲ケ數箇ニ付價格ヲ定メタル



モノハ其數箇ニ對スル價格ヲ示シ又割引ニ係ルモノアルトキハ其旨ヲ付記スヘシ  
 物件購買ニ關スル領收證書ニハ物品出納簿ニ登記濟ノ年月日ヲ詳記スヘシ  
 第十一條 外國文ヲ以テ記載シタル證憑書類ハ其譯文外國貨幣ヲ以テ仕拂タルモノハ其爲換相庭  
 及換算調書ヲ添付スヘシ  
 第十二條 前各條ニ據リ難キ事項ハ適實ノ方法ヲ以テ支出必要ノ事由又ハ其計算ノ基ク所ヲ示シ  
 事ノ複雜ニ涉ルモノハ明細書ヲ添付シ又臨時特殊ニ係ル事項ハ當該長官ノ命令書又ハ認許書若  
 クハ決議書ヲ添付スヘシ  
 第十三條 止ムヲ得サル事故ニ據リ正當受取人ノ領收證書ヲ得難キ場合ニ於テハ其事由ヲ詳記セ  
 ル主任官吏ノ仕拂書ヲ以テ證明スルコトヲ得  
 第十四條 證憑書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其全員枚數ヲ表記シ若シ領收證書ノ未到達ニ係ルモノ  
 アルトキハ其全員ヲ付記スヘシ但各目ノ枚數僅少ナルトキハ合冊ト爲スモ妨ケナレ  
 未到達ニ係ル領收證書ノ到達セシ分ハ各之ヲ別冊ニ編纂シ月ヲ以テ區別スヘシ  
 領收證書ニハ仕拂請求書ノ番號ヲ付記スヘシ

附 則  
 第十五條 本規程ハ明治二十七年五月ヨリ施行ス

(別記)

- 凡 例
- 一 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
  - 二 計算書ノ用紙ハ厚質膠沙引美紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明クヘシ
  - 三 計算書ハ改描塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ
  - 四 現金前渡ヲ爲セシモノアルトキハ總テ作業及鐵道會計支出證明規程ノ様式ニ準據スヘシ

明治何年度		何年何月		何 (款)		支出計算書		名 廳	
○此總括ハ年度末ノ證明ニ於テ提出スルモノトス									
括		不 算 用 高		計		考 備			
年度 線 越 高	高	高	高	高	高	高	高	高	高
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



明治二十七年五月 總會計検査院第十七號

請求書發行濟額									
摘要	前月迄發行高		本月發行高		計		元受發行差引發高		備考
	圓	錢	圓	錢	圓	錢	圓	錢	
何々(款)									
何々(項)									
何々(目)	0		0		0				
何々	0		0		0				
合計	0		0		0			0	

明治二十七年五月 總會計検査院第十七號

總									
豫算高						摘要	仕拂請求書發行高		
前年度豫算		本年度豫算		計					
圓	錢	圓	錢	圓	錢	何々(款)	圓	錢	
0		0		0					何々(項)
0		0		0		何々(目)	0		
0		0		0		何々	0		
0		0		0		何々	0		
0		0		0		項合計	0		
0		0		0		何々	0		
0		0		0		何々	0		
0		0		0		項合計	0		
0		0		0		款合計	0		



明治二十七年五月 達會計検査院第十七號

領收證書未到達

四月分			五月分			六月分		
前月越高	本月到達	未到達高	前月越高	本月到達	未到達高	前月越高	本月到達	未到達高
5,000	5,000	0	1,000	1,000	0	5,000	2,000	3,000
0	0	0	5,000	3,000	2,000	0	0	0
5,000	5,000	0	0	0	0	3,000	3,000	0
10,000	10,000	0	6,000	4,000	2,000	8,000	5,000	3,000

三八七

明治二十七年五月 達會計検査院第十七號

内譯

仕拂

七月分			元受高		
前月越高	本月到達	未到達高	前月込受高	本月受高	計
0	0	10,000			
0	0	0			
0	0	2,000	0	0	0
0	0	12,000			

三八六



摘要	
何々(款)	何々(項)
何々(目)	何々
何々	合計

明治何年度何年何月支出計算書面之通相  
違無之候也

主任官氏名印

會計検査院長宛

年 月 日

○會計検査院達第十八號

官設鐵道用品資金會計收入證明規程左ノ通定

明治二十七年五月十五日

會計検査院長子爵渡邊昇

官設鐵道用品資金會計收入證明規程

第一條 官設鐵道用品資金會計規則ニ據リ收入官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ收入計算書現金  
出納計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 一會計年度中收入官吏ノ交替アリシトキ後任收入官吏ノ證明スヘキ收入計算書ニ於テハ  
尙ホ前任收入官吏ノ計算額ヲ併算スヘシ  
前任收入官吏ヨリ提出スヘキ收入計算書中確定額ハ歳入ヲ確定シタル當該官吏ノ保證ヲ受ケテ  
之ヲ提出スヘシ

分任收入官吏交替ノトキハ特ニ其計算書ヲ調製シ證明ヲ爲スコトヲ得但此場合ニ在テハ主任收  
入官吏ヲ經由スヘシ

第三條 毎年度歳入確定額ノ内收入未済ニ係ルモノアルトキハ毎件其金額事由所屬年度及督促ノ  
顛末等ヲ詳記セル收入未済額明細書ヲ調製シ收入計算書ニ添付スヘシ

第四條 現金出納證明上提出スヘキ證憑書類ハ金庫ノ領收證書トス  
證憑書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其金額枚數ヲ表記スヘシ但各目ノ枚數僅少ナルトキハ合册ト爲  
スモ妨ケナシ

第五條 下検査官吏ハ計算書類ノ下検査ヲ完了シ翌年度六月二十五日以内ニ其屬ヲ發シ之ヲ會計  
検査院ニ送付スヘシ

第六條 下検査書ハ計算書毎ニ區分調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ  
一 計算書明細書若クハ證憑書類ノ件名册數

二 收入計算書ハ收入簿現金出納計算書ハ現金出納簿ト符合及拂込未済現存額ヲ認メタル保證  
但當該下検査官吏ニ於テ事實執行シ難キ場合ニ於テハ他ノ監督ノ任アル官吏ノ保證書ヲ以  
テスルコトヲ得

三 事實ニ適合セスト認定セシ事項ノ金額事由

第七條 收入官吏ニ對スル審理書及之ニ對スル報答書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ

附 則



第八條 本規程ハ明治二十七年五月ヨリ施行ス

(別記)

凡例

- 一 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ即載スヘシ
- 二 計算書ノ用紙ハ厚質縹沙引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明クヘシ
- 三 計算書ハ改描繪抹ヲ禁ス若シ誤訛脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

明治何年度何々(款)

收入計算書

應 名

備 考

前年度未済額			本年度確定額			計			收入済額			收入未済額		
千	百	圓	千	百	圓	千	百	圓	千	百	圓	千	百	圓
0			0			0			0			0		
0			0			0			0			0		
0			0			0			0			0		



明治二十七年五月 達 會計検査院第十八號

收入 済						
摘要	(主任收入官吏)		(分任收入官吏)		某所	
	氏名	額	氏名	額	氏名	額
何々(項)						
何々(目)	0		0		0	
何々	0		0		0	
合計	0		0		0	
現金領收高	0		0		0	

三九三

明治二十七年五月 達 會計検査院第十八號

額 區 分					
某所		某所		計	
氏名	額	氏名	額	氏名	額
0		0		0	
0		0		0	
0		0		0	
0		0		0	

三九二



領 收 済 額						拂 込 済 額	拂 込 未 済 額	備 考
前年度拂込未済ノ分		本年度分		計				
円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
0	0	0	0	0	0	0	0	○一年度内ニ交替アリントキハ後任官吏ノ計算書領收済額中(前年度拂込未済ノ分)ト爲スヘシ ○前年度未済額ニシテ後任官吏ヘ引續クガセシモノアルトキハ其事由ヲ備考ニ記載スヘシ
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	

明治何年度何々(款)

現金出納計算書

明治何年度何々(款)収入計算書面之通相違無之候也

収入官吏氏名印

會計検査院長宛

年月日

廳 名



拂 込 済			
(分任收入官吏ヲ置キタルトキノ例)			
摘 要	(主任收入官吏)	(分任收入官吏)	某 所
	某 所 氏 名	某 所 氏 名	氏 名
	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘
何々 (項)			
何々 (目)	0	0	0
何々	0	0	0
合計	0	0	0
(年度末又ハ主任收入官吏支替ノトキ現 金拂込未済ニ係ルモノアリトキハ式フ 如ク掲出スベシ)			
拂 込 未 済 額	0	0	0

額 區 分			摘 要
某 所 氏 名	某 所 氏 名	計	
円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	
0	0	0	何々 (項)
0	0	0	何々 (目)
0	0	0	何々
			合計
0	0	0	
			身元保証金
			現金 0
			公債証券額面 0
			土地証券登記価格 0
			保証人 氏名
			” 氏名
			(分任收入官吏ニ於テ身元保証金 ヲ納付セシモノアリトキハ主任 出納官吏ノ捺ト區分掲出スベシ)



明治何年度何々(款)現金出納計算書面之通  
相違無之候也

收入官吏氏名印

會計検査院長宛

年 月 日

○陸軍第四十二號

明治二十五年陸軍第六十四號陸軍士官下士一等給給與内則中左ノ通追加ス

明治二十七年五月十六日

陸軍大臣伯爵大山 巖

第一條中六ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

七屯田兵出身ノ下士ハ各中隊毎ニ現員ノ上一半トス

第二條中ニ左ノ二項ヲ加ヘ「二」ヲ「三」ニ改メ以下逐次繰下ク

一屯田騎砲工兵大中尉ニシテ定員若クハ現員一人ノトキ

七屯田各兵科隊附下士ニシテ外宿加俸ヲ受クルモノ

〔参照〕

陸軍第六十四號陸軍士官下士一等給給與内則(明治二十五年八月四日)抄録

第一條 一 等給ハ左ノ各項ノ一ニ當該スルモノニ之ヲ給ス但進士官以上ニ在テハ任官後一箇年下士ニ在テハ任官後三箇月以上ノ者ニシテ勤務勉勵品行方正ニアラサレハ其撰ニ當ラス

第二條 左ノ各項ノ一ニ當該スル者ハ第一條各項ノ規定ニ拘ハラズ一 等給ヲ支給スルコトヲ得

○陸軍第四十三號

二十八珊米榴彈砲及二十四珊米白砲用彈底支桿制式別紙圖面ノ通定ム (別紙略ス)

明治二十七年五月十六日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○海軍省達第七十四號

横須賀鎮守府所管警備艦愛宕修理ニ付役務ヲ解カル

明治二十七年五月十九日

海軍大臣伯爵西郷從道

○陸軍第四十四號

陸軍省所管歳入歳出外現金出納計算ノ検査及責任解除ヲ會計検査院法第十六條ニ據リ明治二十六年年度以降會計検査院ヨリ當省ニ委託セリ仍テ本省ニ係ルモノハ經理局第三課被服廠ニ係ルモノハ經理局第二課其他ハ當該各監督部各砲兵工廠及千住製絨所ニ委任ス

明治二十七年五月二十一日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○陸軍第四十五號

會計検査院法第十六條ニ據リ當省ニ委託ノ陸軍省所管歳入歳出外現金出納計算ノ検査及責任解除ノ成績報告順序ハ明治二十四年陸軍第九十六號ノ例ニ準據スヘキ儀ト心得ヘシ

明治二十七年五月二十一日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○陸軍第四十五號

會計検査院法第十六條ニ據リ當省ニ委託ノ陸軍省所管歳入歳出外現金出納計算ノ検査及責任解除ノ成績報告順序ハ明治二十四年陸軍第九十六號ノ例ニ準據スヘキ儀ト心得ヘシ

明治二十七年五月二十一日

陸軍大臣伯爵大山 巖